KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

NDL-100MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

お客様の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

COMPACT disc DIGITAL AUDIO TEXT　MiniDisc　CD-R/RW PLAYBACK　MDLP　DSP PERFORMANCE AUDIO

©B60-5663-00/00 (J) BT

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用前には必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

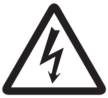
絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ 警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

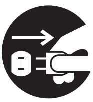
絵表示の例



△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

⚠警告

交流100ボルトの電圧で使用する

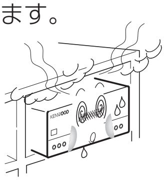
この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流（DC）電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。
  通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。



風呂、シャワー室では使用しない

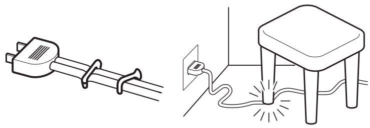
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

電源コードを傷つけない

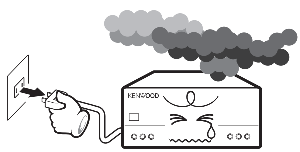
電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。コードが傷つき、火災・感電の原因となります。



電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



⚠警告

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。



機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

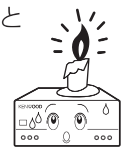
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

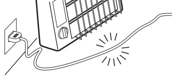
本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。



⚠注意

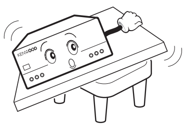
電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

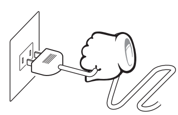
移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。



⚠注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

⚠注意

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"－"の向き）に注意し､表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は､加熱したり､分解したり､火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると､破裂､液もれにより､火災､けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は､点検､修理をご依頼ください。万一､もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

こんなことができます

PC（パソコン）で

PCを接続して音楽ファイルを再生します。
操作はPC内の音楽再生ソフトで行います。
（PCへの録音はできません）

P.28

CDで

CDをいろいろな方法で再生します。

※CDからMDに録音する方法は、「MD録音」P.46参照。

FM/AMラジオで

FM/AMラジオの放送局をセットして放送を聞きます。

※放送をMDに録音する方法は「さまざまな音源からMDに録音する」P.48参照。

※予約して録音する方法は「プログラムタイマーを設定する」P.97参照。

デジタルオーディオプレーヤーを使って

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続して再生、録音します。

※録音可能な音源については「知っておいていただきたいこと」P.24参照。

USBフラッシュメモリやUSBオーディオプレーヤーを使って

USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続して、USB内のMP3ファイルを再生します。本機のリモコンから操作できます。（USBフラッシュメモリやUSBオーディオプレーヤーには録音できません）

P.30

MDで

MDは再生、録音のほか、MD内の曲をいろいろな方法で編集できます。録音設定とともに利用して、最適なMDをお作りください。

MD再生

MD録音

MD編集

MDグループ編集

MD録音設定

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

もくじ

お使いになる前に

必ずお読みください

音源別操作編

音源別に接続や操作の方法がわかります

音質設定編

いい音で聞く方法がわかります

機器設定編

本機の各種設定方法がわかります

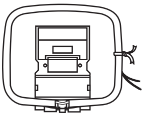
保守編

長くお使いいただくために

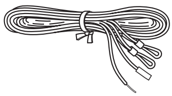
付属品・関連商品

付属品がそろっていることを確認してください

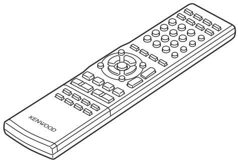
AM ループアンテナ
（1個）



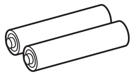
FM室内アンテナ
（1本）



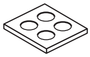
リモコン
（RC-F0318：1個）



リモコン用乾電池
（単4形：2本）



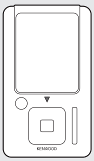
クッション
（4個）



関連商品（別売）

（2006年12月現在）

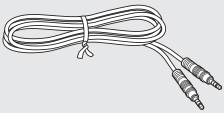
D.AUDIO IN端子へ
接続して再生できます



**ケンウッド製デジタル
オーディオプレーヤー**

HD20GA7、HD30GA9
HD30GB9、HD10GB7
M1GB5、M512B5
M2GC7、M1GC7、
M512C5

接続したケンウッド製
デジタルオーディオプ
レーヤーを本機で操作
できます



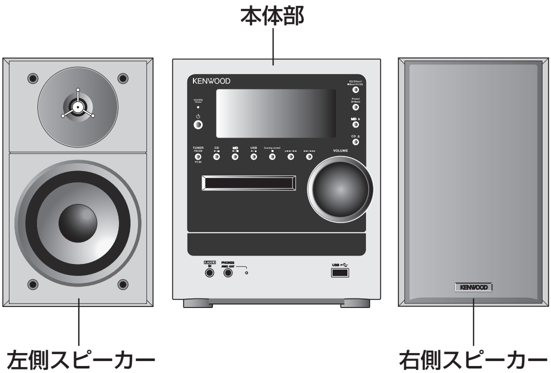
**ケンウッド製デジタル
オーディオプレーヤー
専用ケーブル PNC-150**

設置するときは

本機を設置するときは、下記のように設置してください

設置方法

- 設置する場所は必ず平らで安定した場所に置いてください。台などの上に置く場合は、必ず台の強度を確認してから置いてください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。



⚠ 注意

機器を設置するときは、下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

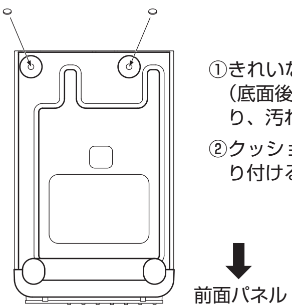
- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。

上面：50cm以上　背面：10cm以上

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。
また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。
完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

付属のクッションについて

設置場所によってはすべりやすい場合があります。そのときは、図のように付属のすべり止めクッションを貼ってご使用ください。（2個は予備です。なくさないように保管しておいてください。）



①きれいな布などで貼り付ける面（底面後ろ側の脚2箇所）のほこり、汚れをふきとる。

②クッションを台紙からはがし貼り付ける。

よりよい音響効果を楽しんでいただくために

スピーカーの置き方によって音は変化します。よりよい音質をお楽しみいただくために下記を参考にしてください。

- 左右のスピーカーの周囲の環境をできるだけ同じにする。また、音の反射をできるだけ少なくする。
（例えば、スピーカーを左右とも壁から離し、ガラス窓などには厚手のカーテンなどを掛ける。）
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 鑑賞時の耳の位置と同じ高さに設置する。

接続のしかた

本機と付属品の接続

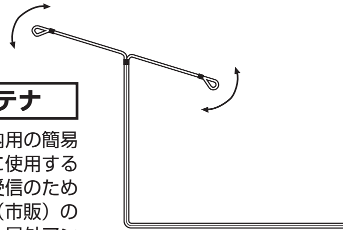
すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

マイコンの誤作動について

正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合はP.112参照。



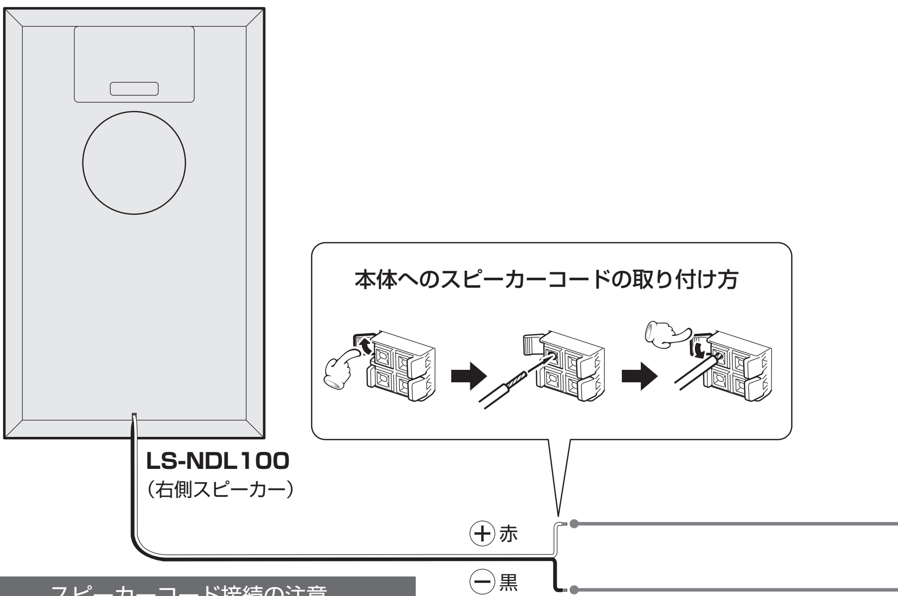
FM室内アンテナ

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナで、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続した後は、簡易アンテナは取り外してください。

①アンテナ端子に接続する。

②受信状態のよい位置をさがす。

③固定する。



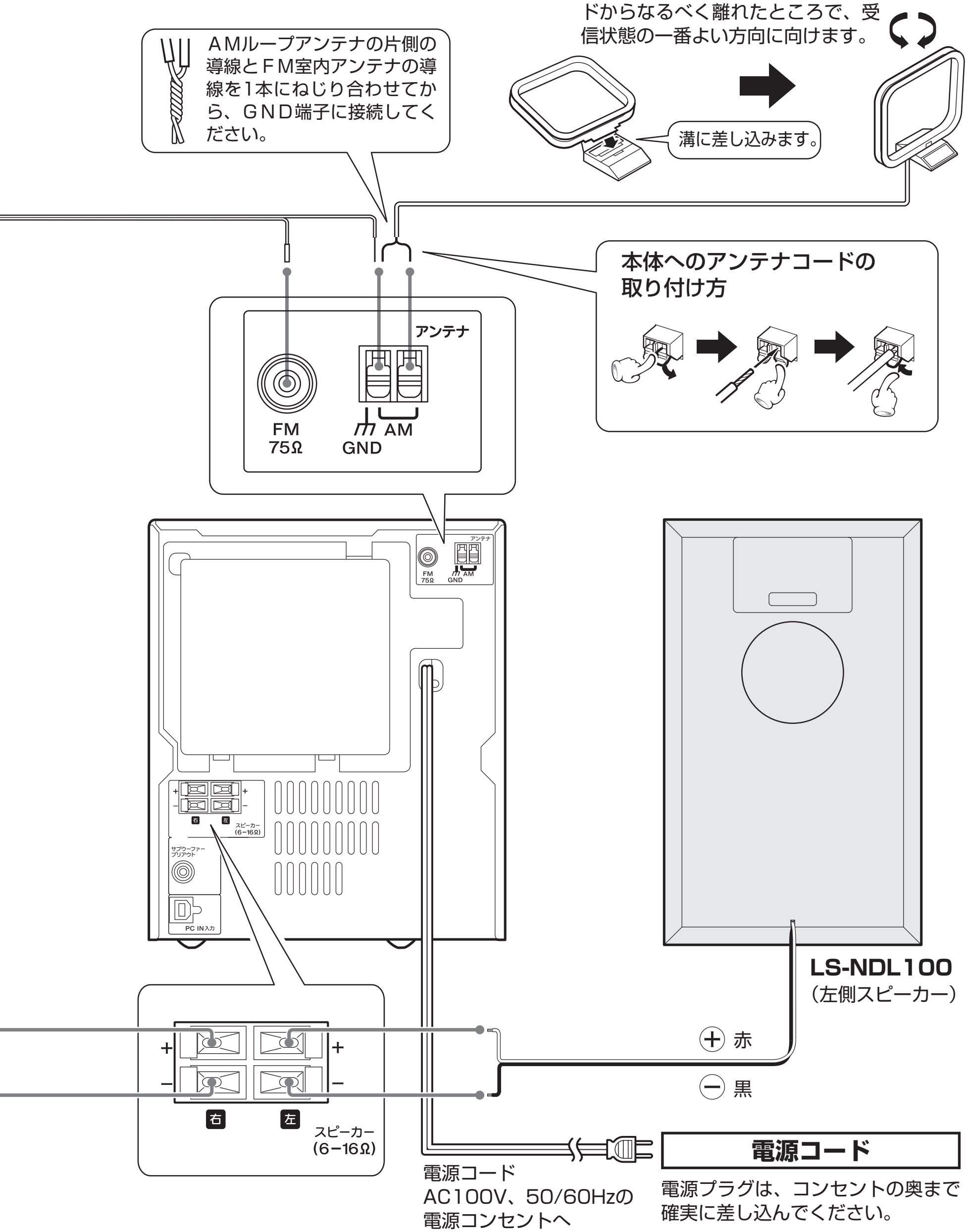
スピーカーコード接続の注意

スピーカーコードの＋と−は絶対にショートさせないでください。

極性＋と−を間違えて接続すると、楽器などの位置がはっきりしない不自然な音になります。

AMループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。



電源コード

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

接続のしかた

他の機器（市販品）との接続

関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

●「FM屋外アンテナ」「サブウーファープリアウト端子」は接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

●接続は必ずスタンバイ状態時に行い、接続が終了するまで電源をONにしないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにしてから抜いてください。

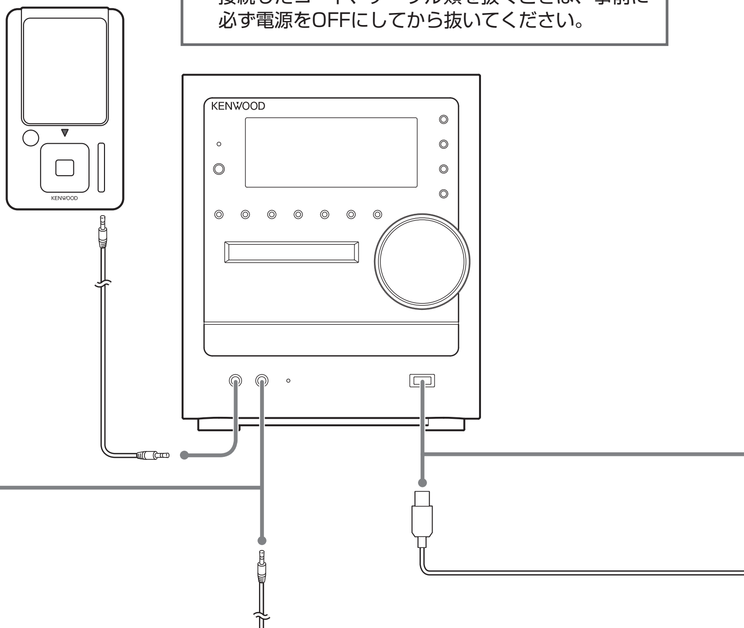
D.AUDIO IN端子

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続します。
専用ケーブル PNC-150 で接続すると、本機やリモコンで操作できます。（P.80参照）

対応プレーヤー

HD20GA7、HD30GA9
HD30GB9、HD10GB7
M1GB5、M512B5、M2GC7、
M1GC7、M512C5

※USB充電機能付きデジタルオーディオプレーヤー再生・録音中は、PCとの接続はしないでください。





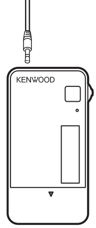
PHONES端子

ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。
夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



REC OUT端子

プレーヤーに付属（または市販品）の録音用ケーブルでケンウッド製ダイレクトエンコード機能付きデジタルオーディオプレーヤーM1GB5/M512B5/M2GC7/M1GC7を接続します。
REC OUT端子からはアナログ信号が出力されます。

※USB充電機能付きデジタルオーディオプレーヤー再生・録音中は、PCとの接続はしないでください。

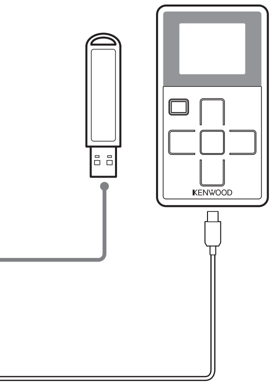
USB端子

USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続します。

※機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。

USB端子接続のご注意

USB端子には、USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などにつきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

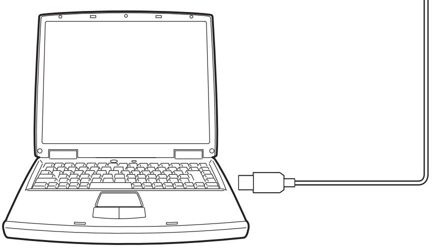




※USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。

PC IN入力端子

USB端子を搭載したWindows® XP/2000搭載PC（パソコン）を接続できます。パソコン内の音楽再生ソフトを操作して、音楽などのコンテンツを再生します。

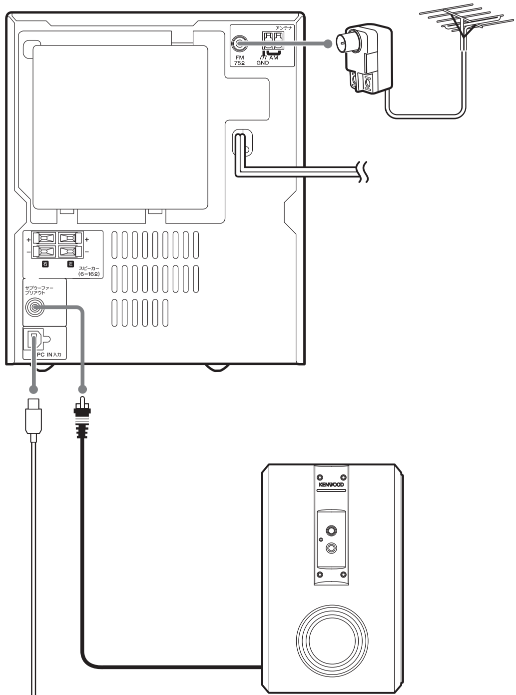


FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

⚠ 屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。



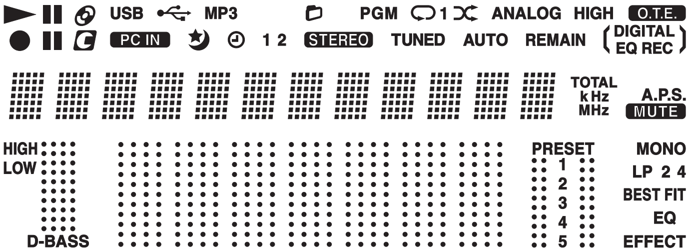
サブウーファープリアウト端子

SW-40HT（別売）などアンプ内蔵のサブウーファーを接続します。

各部のなまえと働き

ディスプレイ部

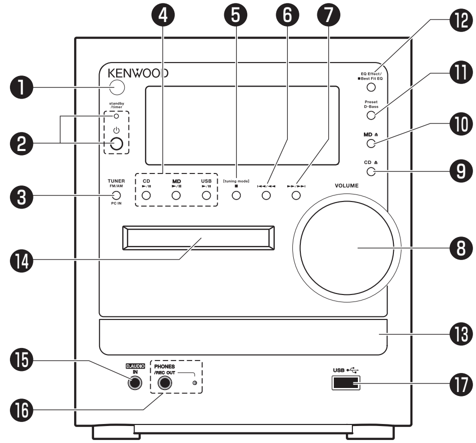
本文中のディスプレイ表示は、
実際の表示と異なる場合もあります。



▶	CD、MD、USB再生中に点灯します。
❚❚	CD、MD、USBが一時停止中に点灯します。
● ❚❚	録音、録音一時停止中に点灯します。
(CDマーク)	CDが入っていると点灯します。
(MDマーク)	MDが入っていると点灯します。
USB	音源がUSB、PCのとき、音を検出すると点灯します。
PC IN	音源がPCのときに点灯します。(P.28)
(USBマーク)	PCと接続されると点灯します。(P.28)
(おやすみタイマーマーク)	おやすみタイマーを設定すると点灯します。(P.96)
MP3	音源がUSBのとき、MP3ファイルを検出すると点灯します。(P.30)
(時計マーク) 1 2	プログラムタイマー設定中に点滅し、設定後点灯します。(P.97)
(フォルダマーク)	音源がMDのときグループモードにすると点灯します。(P.43)
STEREO	FMのステレオ放送受信時に点灯します。(P.75)
PGM	音源がCD、MDのときに、プログラムモードにすると点灯します。(P.36、P.42)
(リピートマーク) 1	音源がCD、MDのときにリピートモードにすると点灯します。「1」があるときは1曲リピート、ないときは全曲リピートです。(P.39、P.45)
(ランダムマーク)	音源がCD、MDのときランダム再生中に点灯します。(P.38、P.44)

TUNED	音源がラジオのとき、放送を受信すると点灯します。(P.74)
AUTO	ラジオの選局方法がAUTOのときに点灯します。(P.75)
ANALOG	MDに録音する入力信号がアナログに設定されていると点灯します。(P.69)
REMAIN	音源がCD、MDのとき、残り時間表示を選んでいる場合に点灯します。(P.35、P.41)
TOTAL	音源がCD、MDのとき、トータル時間表示を選ぶと点灯します。(P.35、P.41)
HIGH	CDからMDへのワンタッチエディット録音のスピードで、HIGH(4倍速)を選ぶと点灯します。(P.68)
O.T.E.	CDからMDへのワンタッチエディット録音中に点灯します。(P.46)
(DIGITAL EQ REC)	MD REC INPUTでDIGITAL EQ RECを選ぶと点灯します。(P.69)
A.P.S.	オートパワーセーブ設定中に点滅し、設定後点灯します。(P.103)
MUTE	ミュート(消音)がオンのとき点滅します。(P.22)
MONO	MDの録音モード設定でMONOを選んだときと、MONOモードで録音された曲を再生中に点灯します。(P.70)
LP 2 4	MDの録音モード設定でLP2またはLP4を選んだときと、LP2またはLP4モードで録音された曲を再生中に点灯します。(P.70)
BEST FIT	BEST FIT EQ設定中に点滅し、設定後点灯します。(P.89)
EQ	EQ EFFECT、BEST FIT EQ、MANUAL EQ設定中に点滅し、どれか選ぶと点灯します。(P.88～P.90)
EFFECT	EQ EFFECT設定中に点滅し、設定後は点灯します。(P.88)

本体部



❶ リモコン受光部（P.19）

❷ 電源（P.23）
電源のオン／オフ（スタンバイ状態）を切り換えます。

スタンバイ・タイマーインジケーター
電源がスタンバイ状態になると点灯します。
赤色：通常のスタンバイ状態
オレンジ色：タイマースタンバイ状態

❸ TUNER/PC IN（P.28、P.74）
音源をFM、AM、PCに切り換えます。

❹ 再生/一時停止（P.23）
各音源に切り換え、再生、一時停止します。

❺ ■/tuning mode
- 再生、録音を停止します。
- ラジオ選択時はオート選局とマニュアル選局を切り換えます。（P.75）
- スタンバイ状態のとき時刻を5秒間表示します。（P.102）

❻ I◀◀/◀◀
- 早戻し、スキップダウンします。
- ラジオ選択時は放送局を選びます。（P.75）

❼ ▶▶/▶▶I
- 早送り、スキップアップします。
- ラジオ選択時は放送局を選びます。（P.75）

❽ VOLUME（P.22）
音量を調節します。

❾ CD 開閉（P.23）
CDトレイを開閉します。

❿ MD 取り出し（P.23）
MDを取り出します。

⓫ Preset D-Bass（P.86）
プリセットD-BASSを4種類から選びます。

⓬ EQ Effect/Best Fit EQ
- 短押しでプリセットEQを設定します。（P.88）
- 長押しでCDをサンプリングして自動でイコライザーを設定します。（P.89）

⓭ CDトレイ
CDを入れます。

⓮ MDスロット
MDを入れます。

⓯ D.AUDIO IN端子（P.80）
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続します。

⓰ PHONES/REC OUT端子（P.83）
- ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続してアナログ録音します。
- ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

REC OUTインジケーター
REC OUTモードになると赤く点灯します。

⓱ USB端子（P.15）
USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続します。

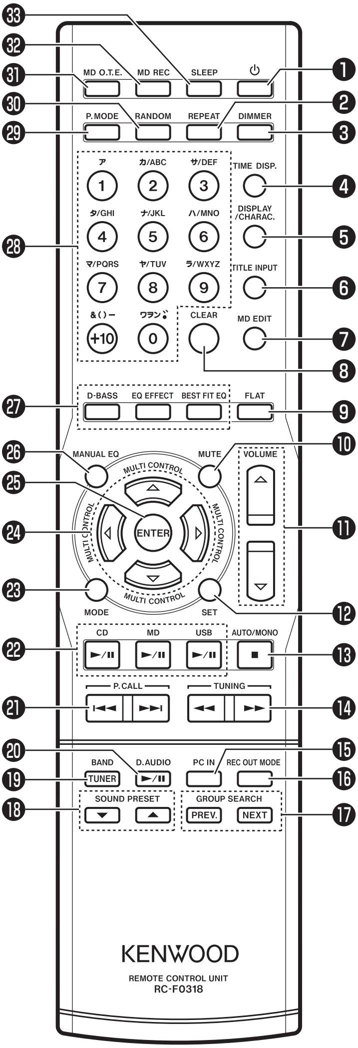
スタンバイ状態について
本機のスタンバイ・タイマーインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。またこの状態のとき、リモコンで本機の電源をONにできます。

ワンタッチオペレーション機能について
本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、❹ 内の各操作キーを押すと本機の電源がオンになります。ディスクが入っているときは再生が始まります。

各部のなまえと働き

リモコンキーの使い方

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。



❶ 電源（P.23）
電源のオン/オフ（スタンバイ状態）を切り換えます。

❷ REPEAT（P.39、P.45）
繰り返し再生します。

❸ DIMMER（P.100）
ディスプレイの明るさを調整します。

❹ TIME DISP.
・時間表示を切り換えます。（P.35、P.41）
・文字入力でスペースを入力します。（P.59）

❺ DISPLAY/CHARAC.
・タイトルや放送局名、時間をディスプレイに表示させます。（P.31）
・文字入力中は文字のグループを切り換えます。（P.59）

❻ TITLE INPUT（P.58）
MDのタイトルを編集する場合に使います。

❼ MD EDIT（P.50～）
MDを編集します。

❽ CLEAR
・プログラム再生モードで選んだ曲を消します。（P.37、P.42）
・プリセットしてある放送局を消します。（P.79）
・文字入力中は文字を消します。（P.59）

❾ FLAT（P.86 ～ P.92）
D-BASS、MANUAL EQの設定を一時的に無効にします。

❿ MUTE（P.22）
一時的に消音します。

⓫ VOLUME（P.22）
音量を調節します。上を押すと音量が上がり、下を押すと音量が下がります。

⓬ SET（P.42 ～）
各種設定時に選択内容を確定します。

⓭ ■ [AUTO/MONO]
・再生、録音を停止します。
・ラジオ選択時はオート選局とマニュアル選局を切り換えます。（P.75）
・スタンバイ状態時は時刻を5秒間表示します。（P.102）

⓮ TUNING
・曲を早送り、早戻しします。
・ラジオ選択時は放送局を選びます。（P.75）

⓯ PC IN（P.28）
PC接続時に音源をPCに切り換えます。

⓰ REC OUT MODE（P.84）
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに録音するときに使用します。

⑰ GROUP SEARCH（P.31、P.43、P.81）
MDのグループや、D.AUDIO、USBのフォルダを選びます。

⑱ SOUND PRESET（P.94）
サウンドプリセット（設定されているサウンド効果）を選びます。

⑲ BAND/TUNER（P.74）
音源をFM、AMに切り換えます。

⑳ D.AUDIO再生/一時停止（P.80）
D.AUDIO IN端子に専用ケーブル PNC-150 でつないだケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを再生、一時停止します。

㉑ P.CALL
・曲を飛ばします。
・ラジオ選択時は放送局を選びます。（P.74）

㉒ 再生/一時停止（P.23）
各音源に切り換え、再生、一時停止します。

㉓ MODE（P.68 ～）
本機の各種設定をする場合に使います。

㉔ MULTI CONTROL（P.50 ～）
項目を選択します。

㉕ ENTER（P.51 ～）
各種設定時に選択内容を確定します。

㉖ MANUAL EQ（P.90）
MANUAL EQの設定をします。

㉗ 音質設定（P.87 ～ P.89）
D-BASS、EQ EFFECT、BEST FIT EQの設定をします。

㉘ 数字/文字入力
・曲、放送局を選びます。（P.35 ～）
・文字を入力します。（P.58 ～）

㉙ P.MODE（P.36、P.42）
再生モード（通常再生モード、グループ再生モード、プログラム再生モード）を切り換えます。

㉚ RANDOM（P.38、P.44）
順不同に再生します。

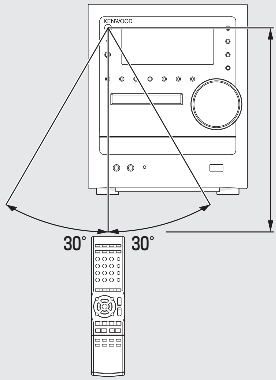
㉛ MD O.T.E.（P.46）
CDからMDにワンタッチエディット録音します。

㉜ MD REC（P.48）
MDに録音します。

㉝ SLEEP（P.96）
おやすみタイマーを設定します。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの電源キーを押すと、電源がONになります。電源がONになったら、操作したいキーを押します。

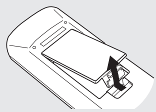


● リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

リモコンの電池の入れ方

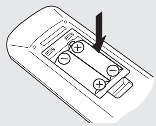
電池が切れたときは市販の単4形電池を使用します。

① 電池カバーを外します。

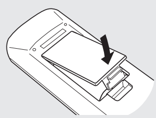


② 新しい単4形電池と交換します。

※電池の極性に注意して入れてください。



③ 電池カバーを閉じます。



● 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。

本書の見方

操作手順です。

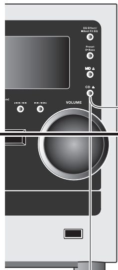
本機ではリモコンと本体で操作できる機能もありますが、本書では主としてリモコンによる操作手順を表記しています。本体でしか行えない操作については、「本体の○○を押して」と表記しています。

操作する前に必要な知識と準備です。

※準備をしておかないと正しく操作できない場合があります。

CD

CD を再生します。通常の再生のほか、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生ができます。



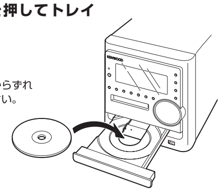
CDを再生する

CD をセットして再生します。

●あらかじめディスクが入っている場合は、CD [►/II] キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。

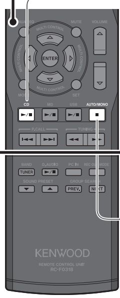
1 本体の[CD ≜]キーを押してトレイを開き、CDを入れる

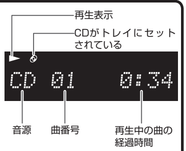
※ラベル面を上にしてトレイからずれないようにして入れてください。



2 本体の[CD ≜]キーを押してトレイを閉じる

3 [CD]キーを押す





CD-TEXT対応のディスクでは、曲名やアルバム名などの文字情報が表示されます。英数字のみ対応しています。それ以外の文字はスペース（空白）になります。

■再生を停止するには

AUTO/MONO [■] キーを押す。

34

操作で使うリモコンのキーです。

※表記していないページもあります。

操作中または操作後のディスプレイ表示です。

※この取扱説明書のディスプレイ表示は操作説明のために作成したものです。実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

上記操作に関連した項目や操作です。

操作の対象になる音源です。

PC: PCです。

USB: USB端子に接続したUSBフラッシュメモリやUSBオーディオプレーヤーです。

CD: CDです。

MD: MDです。

D.AUDIO: D.AUDIO IN端子に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーです。

TUNER: ラジオです。

さらに便利に使うための関連機能です。

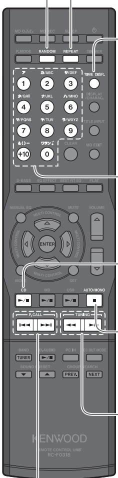
音源別リモコンキーの機能一覧です。

関連情報

●再生できるディスクについて→P.24
●CDをMDに録音する→P.46
●デジタルオーディオプレーヤーに録音する→P.83
●音質設定（いい音で聞く方法）→P.85 ～

CD

【CD再生中のリモコン操作】



ランダム再生する

[RANDOM]キーを押すごとに、ランダム再生と解除が切り換わる。

リピート再生

[REPEAT]キーを押すごとに、1曲リピート→全曲リピート→リピート解除が切り換わる。

時間表示を切り換える

[TIME DISP.]キーを押すごとにディスプレイ表示が、1曲の経過時間→1曲の残り時間→トータルの経過時間→トータルの残り時間が切り換わる。

※プログラムモード(P.36)も同様です。1曲リピート(P.39)、ランダムモード（P.38）では、1曲の経過時間→1曲の残り時間で切り換わる。

曲番号を指定する

5曲目なら (5) を押す。

17曲目なら (+10)、(7) を押す。

一時停止と再開

[CD]キーを押す。

停止する

AUTO/MONO [■] キーを押す。

早送り / 早戻しをする

再生中に [◄◄] / [►►] キーを押し続ける。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

曲を飛ばす→ [►►I] キーを押す。

前の曲へ戻る→ [I◄◄] キーを連続して2回以上押す。

曲の初めに戻る→ [I◄◄] キーを1回押す。

CD

音質設定編

機器設定編

保守編

CDを再生する 35

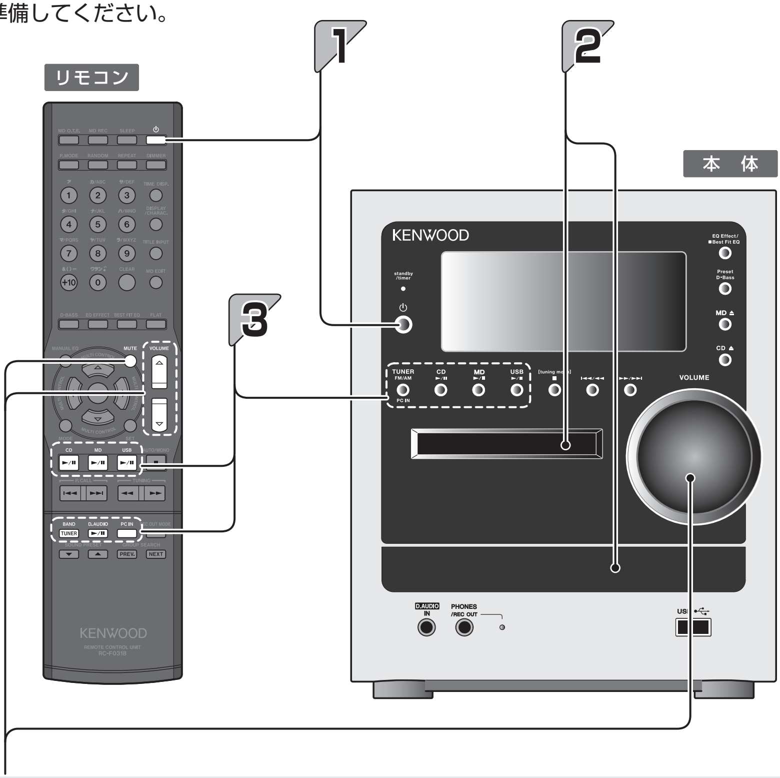
基本的な使い方

準備

適切な場所に本機を設置してください。
（P.11参照）

接続を確認してください。
（P.12 ～ P.15参照）

リモコンを準備してください。
（P.19参照）

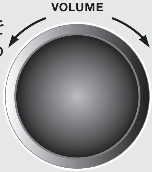


音量を調整する

リモコン



本 体



40段階で調整できます。

※リモコンのキーを押し続ける、または本体のつまみを速く回すと、音量が早く切り換わります。

一時的に消音する（ミュート）

リモコン



[MUTE]キーを押す

■ ミュートを解除するには

もう一度**[MUTE]**キーを押す。

1 電源をオンにする（オフにする）

リモコン ⏻

本　体 ⏻

電源キーを押す

※各音源の再生/一時停止キーを押しても、電源がオンになります。

※電源がオンのときに電源キーを押すとオフ（スタンバイ状態）になります。

2 ディスクを入れる

CDを入れる場合

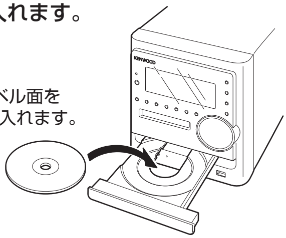
❶ トレイを開けます。

本　体

CD ⏏

[CD 開閉]キーを押す

❷ CDを入れます。



CDはラベル面を上にして入れます。

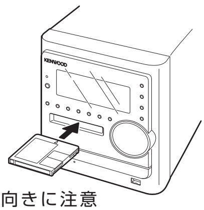
❸ トレイを閉めます。

本　体

CD ⏏

[CD 開閉]キーを押す

MDを入れる場合



入れる向きに注意して確実に入れてください。

■ MDを取り出すときは

本　体

MD ⏏

[MD 取り出し]キーを押す

※スタンバイ状態時に無理にMDを出し入れしないでください。故障の原因になります。

3 再生する

各音源の再生/一時停止キーを押します。

リモコン

PC IN

USB ►/❚❚

CD ►/❚❚

MD ►/❚❚

BAND TUNER

D.AUDIO ►/❚❚

本　体

TUNER FM/AM PC IN

CD ►/❚❚

MD ►/❚❚

USB ►/❚❚

※詳しくは「音源別操作編」の各音源ごとの再生ページをご覧ください。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		本書でのマーク	説　明
PC	USB端子を搭載した Windows XP/2000	PC	● PC IN端子には、Windows XP/2000搭載パソコンをUSBケーブルで接続します。
USB	USBフラッシュメモリ USBマスストレージクラス対応 デジタルオーディオプレーヤー	USB	● USB端子には、USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。使用可能なUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの情報は当社ホームページをご覧ください。 http://www.kenwood.co.jp/faq/
CD	市販の音楽CD CD-DAのフォーマットで記録したCD-R/CD-RW	CD	● コピーコントロール付きCDなど、CD規格外ディスクの再生は保証しておりません。 ● CD-DAのフォーマットで記録し、記録終了時にファイナライズしたCD-RとCD-RWが再生できます。 ● CD-R/RWディスクを録音した機器や録音状態、また使用しているCD-R/RWの種類によっては本機で再生できない場合があります。
MD		MD	● 本機はHi MDに対応しておりません。 ● MD-Clipデータ（静止画など）を書き込んだディスクは、本機で録音、編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

eco

このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

録音できる音源、録音できない音源

録音もと ＼ 録音先	MDに録音	REC OUT端子に接続したデジタルオーディオプレーヤー
PC IN	×	○
USB	×	○
CD	◎	○
MD	―	○
FM/AM	○	○
D.AUDIO	○	―

◎：デジタル録音に対応しています。○：アナログ録音となり、録音速度も等速に限ります。　×：録音できません。

メモリバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は約1日間保持されます。保持される内容は以下の設定です。

- 音源切り換え
- 音量の設定
- 入力レベルの設定
- BEST FIT EQ、サウンドプリセットの設定内容
- プログラムタイマーの設定内容
- オートパワーセーブの設定
- イルミネーションの設定

チューナー関係

- プリセット放送局
- 選局方法の設定（オート、マニュアル選局）
- 受信バンド
- 周波数

録音設定関係

- 録音モード
- LP スタンプ設定
- 録音スピード
- GROUP MAKEの設定

USB機器の取り扱い

取り扱い上のお願い

・必ず各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
・本機にUSB機器は付属していません。別途、市販品を購入してください。
・本機前面のUSB端子はUSB2.0（Full speed）対応です。
・USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。
・USB機器の使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害については、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

再生について

本機で再生できるのはMP3形式です。
MP3 ：ビットレート…………32 ～ 320kbps
サンプリング周波数…32kHz、44.1kHz、48kHz

使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマスストレージクラス対応であること。
  使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。
- 最大消費電流が「500mA」以下であること。
  上記以外のUSB機器を使用すると、曲ファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生できない場合があります。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または、移動する場合は下記の操作を行ってください。

① USBフラッシュメモリやUSBオーディオプレーヤーを外します。CD、MDを取り出します。

② CD、MDそれぞれの再生/一時停止キーを押し、 [NO DISC]がディスプレイに表示されるのを確認します。

③ 数秒間待ち、電源をOFFにします。

④ その他外部機器が接続されている場合は、電源がOFFになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

知っておいていただきたいこと

CDの取り扱い

取り扱い上のお願い

再生面にふれないように持ってください。

本機で使用できるディスクについて

CD（12cm、8cm）、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったディスクをご使用ください。

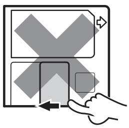
このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

MDの取り扱い

取り扱い上のお願い

MDのシャッターは、開かないようにロックされています。無理に開けようとするとMDがこわれます。



再生について

MDは△などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因になります。

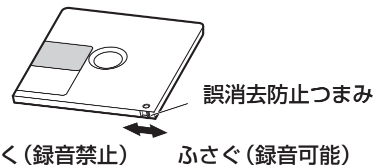
デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

大切な録音を消さないために

■ 誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみを開いた状態にしておきます。
再び録音するときは、つまみを元の状態に戻します。



著作権について

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問い合わせ先：
社団法人私的録音補償金管理協会（sarah）

東京都千代田区麹町1-8-14麹町YKビル2F
電話（03）3261-3444

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

音源別操作編

音源別に接続や操作の方法がわかります。
音源にかかわらない音質の設定や機器の設定については、
「音質設定編」「機器設定編」をご覧ください。
エラーが表示されたり、困ったことが起きた場合には、
「保守編」をご覧ください。

PC（パソコン）

パソコンを接続して、曲やインターネットラジオ
放送などのコンテンツを聞くことができます。

パソコンを接続してコンテンツを聞く

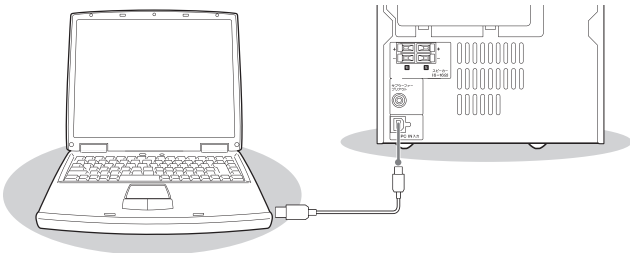
パソコンを本機に USB ケーブル（市販品）で接続し、パソコン内のソフトウェアを操作して曲やラジオ放送などのコンテンツを聞くことができます。

※本機とパソコンを接続するUSBケーブル（Type A - Type B）を準備します。



1 本体裏面の[PC IN入力端子]とパソコンのUSBポートを、USBケーブルで接続する

※本機とパソコンを接続する場合は
　電源をオフにしておきます。



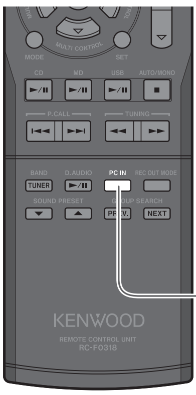
2 パソコンの電源をオンにする

3 本体の電源をオンにする

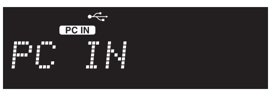
パソコンへドライバが自動的にインストールされ、
本機は「USBスピーカー」として認識されます。

※パソコンが本機を接続検出中の状態では、USB
　ケーブルを抜き差ししないでください。

※数秒間経過しても本機が検出されない場合は、次
　のことを行ってください。
　・USBケーブルを接続しなおす
　・パソコンを再起動する



4 [PC IN]キーを押す



関連情報
●デジタルオーディオプレーヤーに録音する→P.83
●音質設定（いい音で聞く方法）→P.85 ～

5 パソコンのソフトウェアを操作してコンテンツを聞く

※コンテンツはパソコンで選びます。パソコンで行う操作については、パソコンまたはソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

※本機で音量調節ができます。



パソコンから入力中は、「USB」が表示されます。

Point

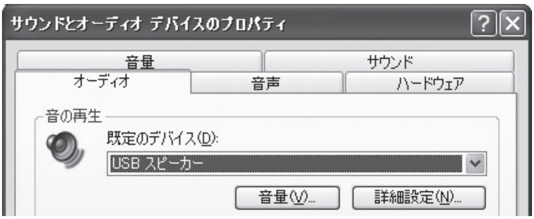
※本機は48kHz/44.1kHz/32kHz周波数に対応しています。また、16ビットステレオ/モノラルデータを受信できます。

※本機のPC IN入力端子は入力専用です。本機で再生される音をパソコンに録音することはできません。

※音が出ないとき、音量が非常に小さいときは、次の手順でWindowsの設定を確認してください。

Windows XPの場合

スタートメニューから、[コントロールパネル]を選び、[サウンドとオーディオデバイス]をダブルクリックします。



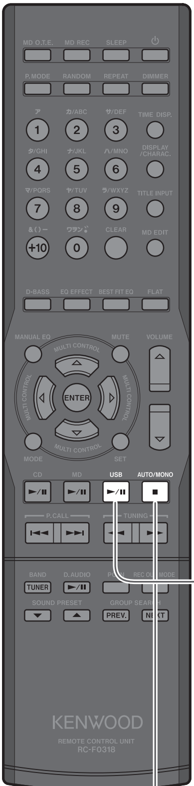
・[オーディオ]タブをクリックし「USBスピーカー」を選びます。

・下の[音量]をクリックして、音量を調節してください。「ミュート」のチェックボックスにチェックがある場合は、解除します。

音質設定編
機器設定編
保守編

USB

USB フラッシュメモリや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを
USB 接続して、内部の MP3 ファイルを再生します。

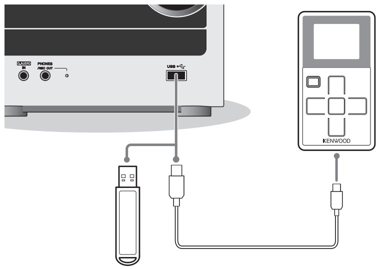


USBフラッシュメモリや USBデジタルオーディオプレーヤーを接続して再生する

USB フラッシュメモリや USB マスストレージクラスに対応した
デジタルオーディオプレイヤーの MP3 ファイルを再生します。

※USBマスストレージクラス：パソコンにUSB機器を接続するための規格。
※接続する外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。
※再生できるデータ形式については、「USB機器の取り扱い」をP.25をご覧ください。

1 [USB端子]にUSBフラッシュメモリまたは、USBオーディオプレーヤーのUSBケーブルを接続する



2 [USB]キーを押す

機器の中のMP3ファイルを検索し、再生を始めます。

※複数のフォルダや曲ファイルがある場合の再生の順番については、P.32をご覧ください。

※機器に再生可能なMP3ファイルがないときは、再生は始まりません。

※接続されている機器や記録されているファイル数などによって、読み込みに時間がかかり再生が始まらない場合があります。F001 T001 表示後に、再度**[USB]**キーを押してください。

※USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選び、再度**[USB]**キーを押してください。



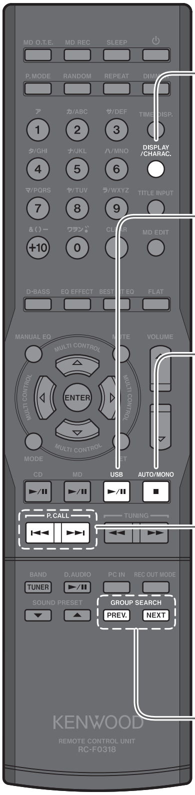
■再生を停止するには

AUTO/MONO ■ キーを押す。

Point
※定格以上の電流を消費するUSB機器を接続すると「USB ERROR」と表示されます。本機では使用できません。
本機の電源をオフにしてから、そのUSB機器を抜いてください。

関連情報
●再生できるデータ形式について→P.25
●音質設定（いい音で聞く方法）→P.85 ～
●フォルダや曲ファイルの再生順について→P.32
●デジタルオーディオプレーヤーに録音する→P.83

【USB再生中のリモコン操作】



表示を切り換える

[DISPLAY]キーを押すごとに、ファイル番号 / 再生時間→フォルダ番号 / ファイル番号が切り換わる。

一時停止 / 再開する

[USB]キーを押すと一時停止、
もう一度押すと再開する。

停止する

AUTO/MONO
[■] キーを押す。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る

曲を飛ばす→ [►►I] キーを押す。

前の曲へ戻る→ [I◄◄] キーを押す。

前のフォルダ/ 次のフォルダの曲を再生する

前のフォルダへは**[PREV.]**キーを押す。
次のフォルダへは**[NEXT]**キーを押す。

Point

※最初のフォルダから**[PREV.]**キーは使えません。また、最初のフォルダの最初の曲ファイルから [I◄◄] キーは使えません。

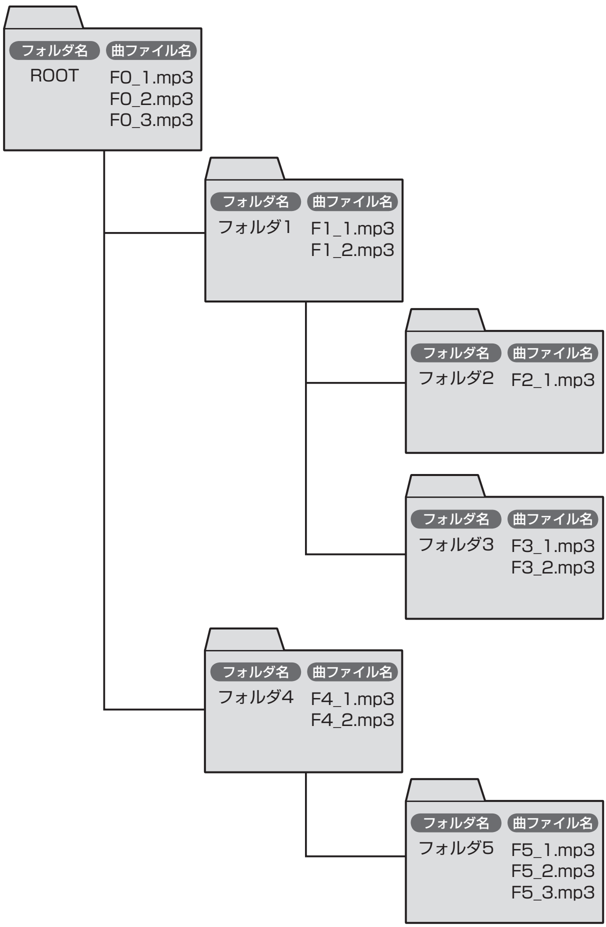
※デジタルHDDオーディオプレーヤーを接続した場合は、HDDのシステム上、一時停止から再生開始した際に音切れが発生する場合があります。

※音源がUSB以外の場合はデジタルオーディオプレーヤーを充電することはできません。

【フォルダや曲ファイルの再生順について】

USBフラッシュメモリやUSBオーディオプレーヤー内の曲ファイルは、まず、Rootにあるものから再生されます。次の図は、本機がフォルダや曲ファイルを選択する順番を表したものです。

フォルダ構成例

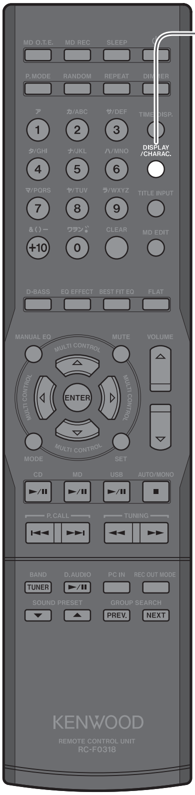


■曲ファイル再生順

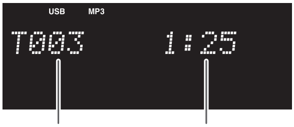
1曲目......F0_1.mp3
2曲目......F0_2.mp3
3曲目......F0_3.mp3
4曲目......F1_1.mp3
5曲目......F1_2.mp3
6曲目......F2_1.mp3
7曲目......F3_1.mp3
8曲目......F3_2.mp3
9曲目......F4_1.mp3
10曲目......F4_2.mp3
11曲目......F5_1.mp3
12曲目......F5_2.mp3
13曲目......F5_3.mp3

【再生中のディスプレイ表示について】

USBフラッシュメモリやUSBオーディオプレーヤーを接続してUSBを音源として選択し、MP3ファイルを再生中には、ディスプレイには次のように表示されます。

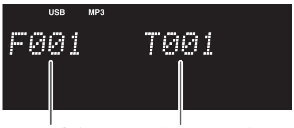


■[DISPLAY/CHARAC.]を押すごとに切り換わります。



曲ファイル番号　　再生時間

再生中のフォルダ内の曲ファイル番号。
フォルダが変わったときにはフォルダ「F×××」番号が表示される。USB機器認識中や接続されていない場合は「USB」と表示。



フォルダ番号　　曲ファイル番号

CD

CD を再生します。通常の再生のほか、プログラム再生、
ランダム再生、リピート再生ができます。

CDを再生する

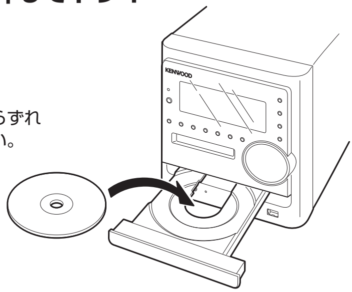
CD をセットして再生します。

●あらかじめディスクが入っている場合は、CD [►/II] キーを
押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。



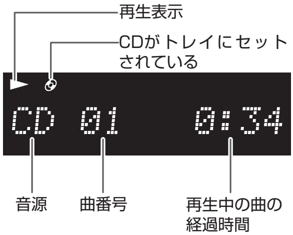
1 本体の[CD ▲]キーを押してトレイを開き、CDを入れる

※ラベル面を上にしてトレイからずれ
ないようにして入れてください。



2 本体の[CD ▲]キーを押してトレイを閉じる

3 [CD]キーを押す



CD-TEXT対応のディスクでは、曲名やアルバム名などの文字情報が表示されます。英数字のみ対応しています。それ以外の文字はスペース（空白）になります。

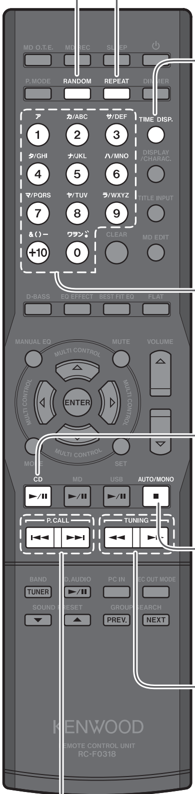


■再生を停止するには

AUTO/MONO [■] キーを押す。

関連情報
●再生できるディスクについて→P.24　●音質設定（いい音で聞く方法）→P.85 ～
●CDをMDに録音する→P.46
●デジタルオーディオプレーヤーに録音する→P.83

【CD再生中のリモコン操作】



ランダム再生する

[RANDOM]キーを押すごとに、ランダム再生と解除が切り換わる。

リピート再生

[REPEAT]キーを押すごとに、1曲リピート→全曲リピート→リピート解除が切り換わる。

時間表示を切り換える

[TIME DISP.]キーを押すごとにディスプレイ表示が、1曲の経過時間→1曲の残り時間→トータルの経過時間→トータルの残り時間が切り換わる。

※プログラムモード(P.36)も同様です。1曲リピート(P.39)、ランダムモード（P.38）では、1曲の経過時間→1曲の残り時間で切り換わる。

曲番号を指定する

5曲目なら (5) を押す。

17曲目なら (+10)、(7) を押す。

一時停止と再開

[CD]キーを押す。

停止する

AUTO/MONO [■] キーを押す。

早送り / 早戻しをする

再生中に [◄◄] / [►►] キーを押し続ける。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

曲を飛ばす→ [►►I] キーを押す。

前の曲へ戻る→ [I◄◄] キーを連続して2回以上押す。

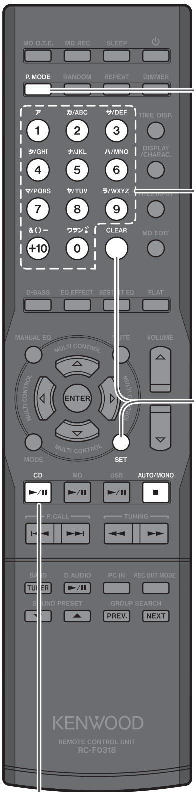
曲の初めに戻る→ [I◄◄] キーを1回押す。

CDをプログラムモードで再生する

CD の好きな曲を好きな順番で聞きます。

● CD ►/II キーを押して、音源をCDに切り換えます。
切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO ■ キーを押して再生を停止します。

●再生中の場合は、AUTO/MONO ■ キーを押して再生を停止します。



1 [P.MODE]キーを押してプログラムモードを選ぶ

押すごとに切り換わります。

PGM 点灯 ▶ PGM 消灯

プログラムモード　プログラムモードを解除します

2 数字キーで聞きたい曲を1曲選ぶ



CDの7曲目をプログラムの1曲目に選んだ場合

7曲目なら (7) を押す
17曲目なら (+10)、(7) を押す。

▶ **[SET]**キーを押す

※曲を選んでから20秒以内に押してください。

※入力を間違えた場合は、**[CLEAR]**キーを押してから、もう一度入力します。

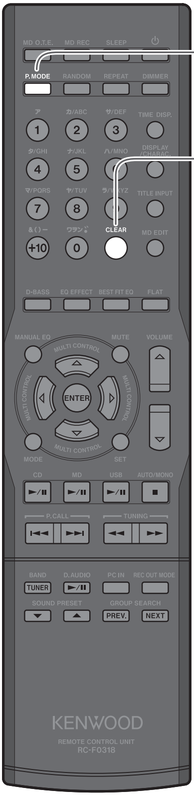
3 2曲以上選ぶときは手順2を繰り返す

※32曲まで選ぶことができます。さらに選ぼうとすると「PGM FULL」と表示されます。

4 [CD]キーを押して再生する

Point
※電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したCDを取り出すと設定したプログラム内容は消えます。

関連情報
●CDをランダム再生する→P.38
●CDをリピート再生する→P.39



■プログラムモードを解除するには

・再生を停止し、**[P.MODE]**キーを押して「PGM」表示を解除します。
　設定したプログラムは消去します。

■プログラムした曲を取り消すには

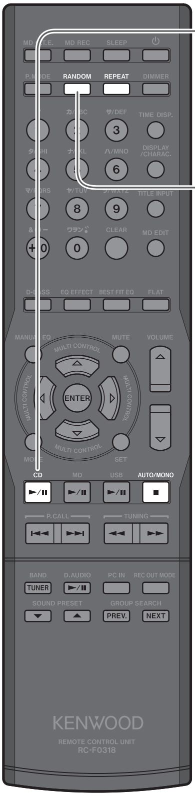
・再生を停止し、その後**[CLEAR]**キーを押します。
　押すごとに、プログラムした最後の曲から１曲ずつ消えていきます。

■曲を後から追加するには

・再生している場合は停止してから、手順2の操作をします。

CDをランダム再生する

再生中の CD の曲を順不同で聞きます。



1 [CD] キーを押して再生する

2 [RANDOM]キーを押してランダム再生する

押すごとに切り換わります。

点灯	▶	消灯
ランダム再生します		ランダム再生を解除します

■解除するには

・ランダム再生中に**[RANDOM]**キーを押し、（ランダム表示）を消灯させます。

AUTO/MONO
[■] キーを押すと、ランダム再生を解除できますが、再生も停止します。

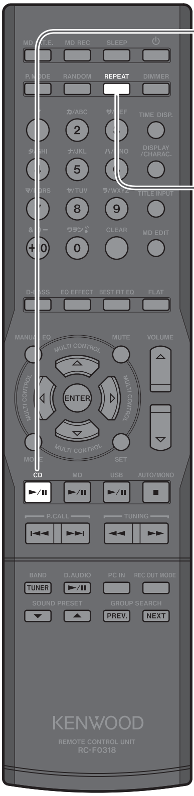
Point

※ランダム再生中に [REPEAT] キーを押すと、ランダム再生がひと通り終わってから、先ほどとは違う順番でランダム再生が始まります。

※ランダム再生中は再生済みの曲へ飛ばすことはできません。

CDをリピート再生する

CD の曲を繰り返し聞きます。



1 [CD] キーを押して再生する

2 [REPEAT]キーを押してリピート再生する

押すごとに切り換わります。

1 点灯 → 点灯 → 消灯

1 点灯	点灯	消灯
1曲だけリピート再生します ※プログラム再生中は選べません。	全曲リピート再生します	リピート再生を解除します

■解除するには

・プログラム再生中に[REPEAT]キーを押し、
を消灯させせます。

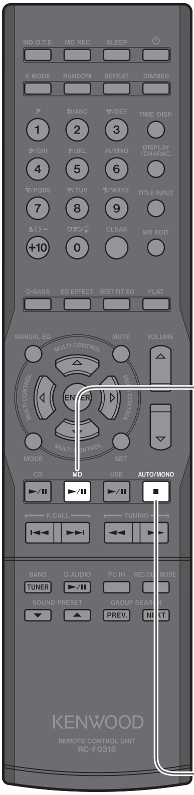
Point

※プログラム再生中に REPEAT キーを押すと、選んだ曲を繰り返し再生します。

CD
音質設定編
機器設定編
保守編

MD 再生

MD を再生します。ランダム再生、リピート再生のほか、
好きな曲を好きな順番で聞くプログラム再生ができます。



MDを再生する

MD をセットして再生します。

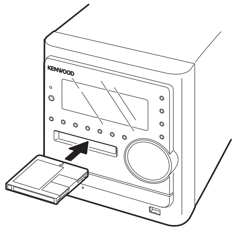
●あらかじめディスクが入っている場合は、MD [►/II] キーを押すだけで電源がオンになり、再生が始まります。

1 MDを本体に入れる

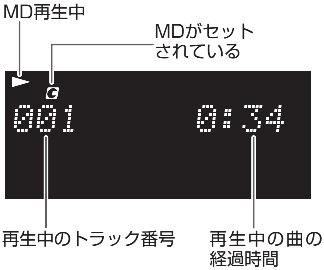
MDを入れるとディスプレイに [C] が点灯します。

※入れる向きに注意して確実に入れてください。

※MDにディスクタイトルが登録されているときは、表示されます。



2 [MD]キーを押して再生する



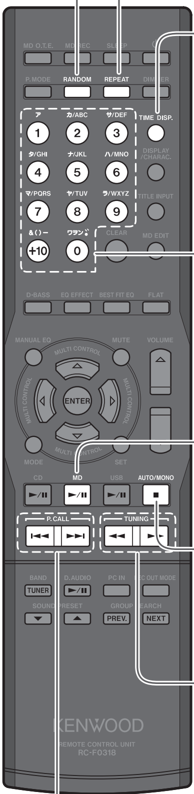
■再生を停止するには

AUTO/MONO [■] キーを押す。

Point ※MDの曲は録音したときの録音モードにしたがって再生されます。録音モードについては、「MD 録音設定」P.70参照。

関連情報
●MDをプログラムモードで再生する→P.42
●MDをグループごとに再生する→P.43
●デジタルオーディオプレーヤーに録音する→P.83
●音質設定(いい音で聞く方法)→P.85 〜

【MD再生中のリモコン操作】



ランダム再生する

[RANDOM]キーを押すごとに、ランダム再生と解除が切り換わる。

リピート再生

[REPEAT]キーを押すごとに、1曲リピート→全曲リピート→リピート解除が切り換わる。

時間表示を切り換える

[TIME DISP.]キーを押すごとにディスプレイ表示が、1曲の経過時間→1曲の残り時間→トータルの経過時間→トータルの残り時間→録音可能残り時間が切り換わる。

※プログラムモード(P.42)も同様です。1曲リピート(P.45)、ランダムモード（P.44）では、1曲の経過時間→1曲の残り時間→録音可能残り時間で切り換わります。

曲番号を指定する

5曲目なら (5) を押す。

17曲目なら (+10)、(7) を押す。

123曲目なら (+10) ×12回、(3) を押す。

一時停止と再開

[MD]キーを押す。

停止する

AUTO/MONO [■] キーを押す。

早送り / 早戻しをする

再生中に [◄◄] / [►►] キーを押し続ける。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

曲を飛ばす→ [►►I] キーを押す。

前の曲へ戻る→ [I◄◄] キーを連続して2回以上押す。

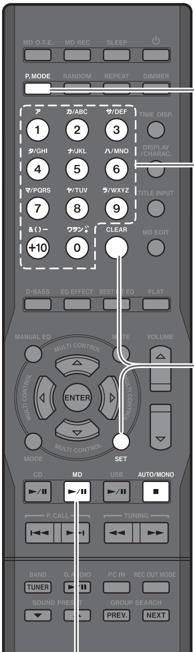
曲の初めに戻る→ [I◄◄] キーを1回押す。

MDをプログラムモードで再生する

MD の好きな曲を好きな順番で聞きます。

● [MD ►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
切り換えると再生が始まるので、[AUTO/MONO ■] キーを押して再生を停止します。

●再生中の場合は、[AUTO/MONO ■] キーを押して再生を停止します。



1 [P.MODE]キーを押してプログラムモードを選ぶ

押すごとに切り換わります。

→ [📁 点灯] ▸ [PGM点灯] ▸ [PGM消灯] →

- 📁 点灯：グループモード
  ※グループ登録されたMDを入れている場合のみ。
- PGM点灯：プログラムモード
- PGM消灯：グループモード　プログラムモードを解除します

2 数字キーで聞きたい曲を1曲選ぶ



MDの3曲目をプログラムの1曲目に選んだ場合

▼

[SET]キーを押す

※曲を選んでから20秒以内に押してください。

3曲目なら (3) を押す
17曲目なら (+10)、(7) を押す
123曲目なら (+10) ×12回、(3) を押す

※入力を間違えた場合は、**[CLEAR]**キーを押してから、もう一度入力します。

3 2曲以上選ぶときは手順2を繰り返す

※32曲まで選ぶことができます。さらに選ぼうとすると「PGM FULL」と表示されます。

4 [MD]キーを押して再生する



■プログラムモードを解除するには

・再生を停止し、**[P.MODE]**キーを押して「PGM」を消灯させます。
設定したプログラムは消去します。

■プログラムした曲を取り消すには

・再生を停止し、その後**[CLEAR]**キーを押します。
押すごとに、プログラムした最後の曲から１曲ずつ消えていきます。

■曲を後から追加するには

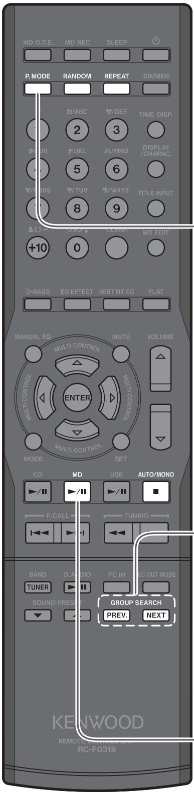
・再生している場合は停止してから、手順2の操作をします。

Point
※電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したMDを取り出すと設定したプログラム内容は消えます。

関連情報
●MDをランダム再生する→P.44
●MDをリピート再生する→P.45
●MDグループ編集→P.60 ～

MDをグループごとに再生する

グループ登録された MD をグループモードで再生すると、聞きたいグループの先頭の曲にスキップして、選んだグループの曲だけを聞くことができます。



- ●グループ登録されたMDを本体に入れます。（P.60参照）
- ●[MD ►/II]キーを押して、音源をMDに切り換えます。
  切り換えると再生が始まるので、[AUTO/MONO ■]キーを押して再生を停止します。
- ●再生中の場合は、[AUTO/MONO ■]キーを押して再生を停止します。

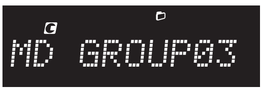
1 [P.MODE]キーを押してグループモードを選ぶ

押すごとに切り換わります。

点灯 ► PGM点灯 ► PGM消灯

- 点灯：グループモード
  ※グループ登録されたMDを入れている場合のみ。
- PGM点灯：プログラムモード
- PGM消灯：グループモードプログラムモードを解除します

2 [GROUP SEARCH]キーで聞きたいグループを選ぶ



グループ3を選択した場合

3 [MD]キーを押して再生する

選んだグループの最小トラックナンバーの曲から再生されます。

■グループモードを解除するには
・再生を停止し、その後[P.MODE]キーを押して を消灯させます。

Point

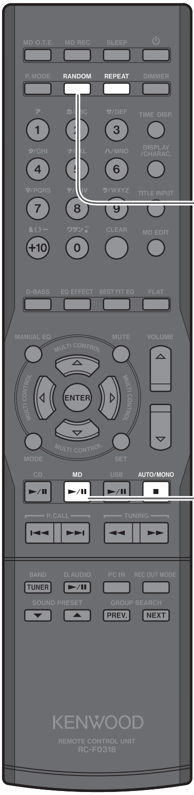
※グループ再生中に[RANDOM]キーを押すと、選んでいるグループの曲を順不同に再生します。

※グループ再生中に[REPEAT]キーを押すと、選んでいるグループの曲を繰り返し再生します。

※他のMD機器でグループ登録、編集されたMDを本機で使用すると、正しく動作しないことがあります。

MDをランダム再生する

再生中の MD の曲を順不同で聞きます。



1 [MD]キーを押して再生する

2 [RANDOM]キーを押してランダム再生する

押すごとに切り換わります。

点灯 ▶ 消灯

ランダム再生します　ランダム再生を解除します

■解除するには

・ランダム再生中に**[RANDOM]**キーを押し、

を消灯させます。

AUTO/MONO

[■] キーを押すと、ランダム再生を解除できますが、再生も停止します。

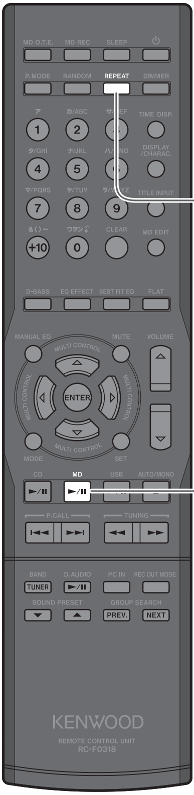
Point

※ランダム再生中に[REPEAT]キーを押すと、ランダム再生がひと通り終わってから、先ほどとは違う順番でランダム再生が始まります。

※ランダム再生中は再生済みの曲へ飛ばすことはできません。

MDをリピート再生する

MD の曲を繰り返し聞きます。



1 [MD]キーを押して再生する

2 [REPEAT]キーを押してリピート再生する

押すごとに切り換わります。

1 点灯	点灯	消灯
1曲だけリピート再生します ※プログラム再生中は選べません。	全曲リピート再生します	リピート再生を解除します

■解除するには

・プログラム再生中に**[REPEAT]**キーを押し、
を消灯させます。

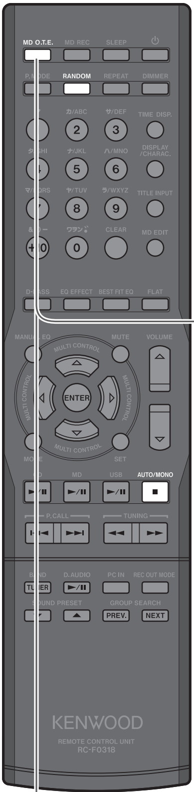
Point

※プログラム再生中に REPEAT キーを押すと、選んだ曲を繰り返し再生します。

※グループ再生中に REPEAT キーを押すと、選んでいるグループの曲を繰り返し再生します。

MD 録音

MD に CD、ラジオ放送、ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーから録音します。録音スピードやグループ登録など、録音モードを変更する場合は「録音設定」P.68 を参照してください。



CDをMDに録音する（ワンタッチエディット録音）

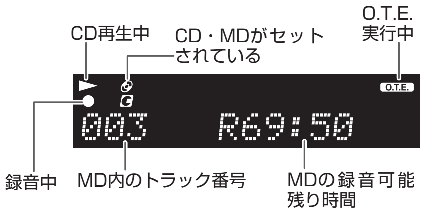
全曲録音、１曲録音のほか、好きな曲を好きな順番で録音するプログラム録音ができます。

- CD、MDが再生中の場合は、AUTO/MONO [■]キーを押して再生を停止します。
- ディスプレイに [ランダム] が点灯している場合は、RANDOM [ ] キーを押してランダム再生モードを解除します。

全曲を録音する

1 [MD O.T.E.]キーを押して録音する

CDからMDへの録音が始まります。



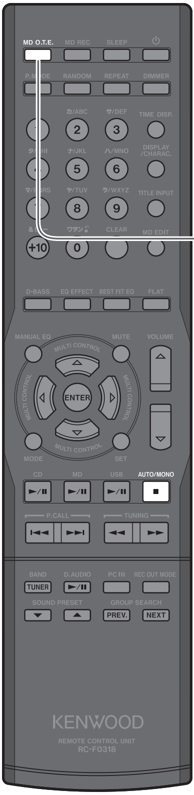
１曲を録音する

1 録音したい曲を再生する

2 [MD O.T.E.]キーを押して録音する

再生中の曲の頭から録音が始まります。

MD



好きな曲を好きな順番で録音する

1 プログラムモードでCDの録音したい曲を選ぶ

プログラムモードで好きな曲を好きな順番で選びます。（P.36参照）

2 [MD O.T.E.]キーを押す

■途中でやめるには

AUTO/MONO

■ キーを押す。 ※一時停止はできません。

■録音が終了すると

MD WRITING

※「MD WRITING」表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。
※「MD WRITING」が完了する前に電源が切れると録音した内容は消えます。

■録音中にMDがいっぱいになると

DISC FULL

※録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。（P.50参照）

■録音できないMDのときは

PROTECTED
書き込み禁止の場合

PLAY ONLY
プリマスタードディスクの場合

■録音設定を変えるときは

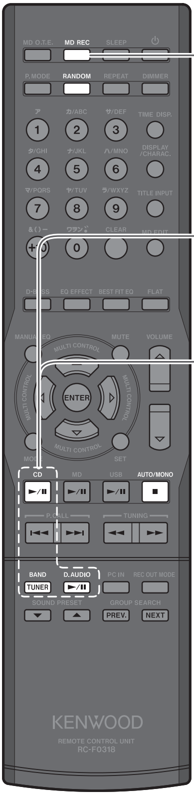
・MDへの録音スピードなど様々な設定をすることができます。
詳しくは「録音設定」P.68を参照してください。

Point

※MDにLPモード（LP2、LP4）で録音した場合、MDLPに対応していない機器では再生できません。（P.70参照）
※いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じ曲を4倍速録音することはできません。

さまざまな音源からMDに録音する

CD、ラジオ放送（FM または AM）、ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー(D.AUDIO)で再生した音をMDに録音します。



●CD、MDが再生中の場合は、AUTO/MONO [■] キーを押して再生を停止します。

●ディスプレイに（ランダムアイコン）が点灯している場合は、RANDOM キーを押してランダム再生モードを解除します。

●ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの場合は D.AUDIO IN端子に接続してください。

1 録音する音源を選ぶ

[CD]キー、**[TUNER]**キー、**[D.AUDIO]**キーを押します。

2 録音の準備をする

CDの場合

[CD]キーを押して再生を一時停止し、
録音したい曲を選びます。（P.35参照）

ラジオ放送の場合

選局します。（P.74参照）

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの場合

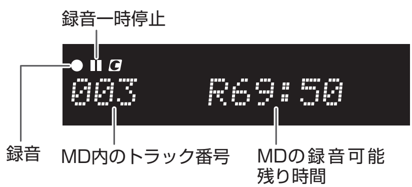
[D.AUDIO]キーを押して再生を一時停止し、
録音したい曲を選びます。

※別売の専用ケーブルPNC-150を使って接続すると、本体やリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの操作ができます。

※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

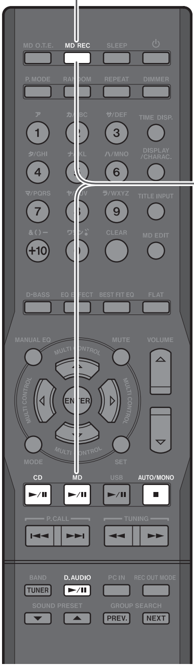
3 [MD REC]キーを押して録音待機する

録音一時停止（待機）状態になります。



関連情報
●録音モードの設定を変更するには→P.70
●トラックマークの間隔を設定する→P.73
●録音した音が歪む、または小さいと感じた場合は(録音レベルの調整)→P.104

MD



4 再度[MD REC]キーを押して録音を始める

CDの場合	ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの場合
CD [►/II] キーを押して再生させます。	D.AUDIO [►/II] キーを押して再生させます。 ※PNC-150以外のケーブルで接続している場合は、接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

■一時停止するには

・**[MD REC]**キーまたは**[MD]**キーを押します。

※再び録音を始める場合は、もう一度押します。
　このときトラック番号はひとつ繰り上がります。

■途中でやめるには

AUTO/MONO
[■] キーを押す。

■録音が終了すると

MD WRITING

※「MD WRITING」表示中は電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

※「MD WRITING」が完了する前に電源が切れると録音した内容は消えます。

■録音中にMDがいっぱいになると

DISC FULL

※録音し直す場合は、不要な曲を削除してください。(P.50参照)

■録音できないMDのときは

PROTECTED
書き込み禁止の場合

PLAY ONLY
プリマスタードディスクの場合

Point
※MDにLPモード(LP2、LP4)で録音した場合、MDLPに対応していない機器では再生できません。(P.70参照)



録音時のトラック分割

CD のアナログ録音、ラジオ、またはデジタルオーディオからの録音では手動でトラックマーク (曲を区切るマーク) を付けることができ、押すごとに曲ファイルが作成されます。区切りたい場所で **[MD EDIT]** キーを押します。

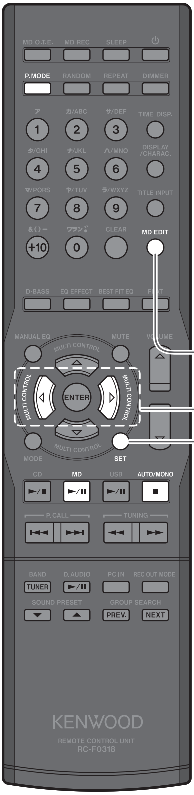
※CDのアナログ録音、デジタルオーディオからの録音では、無音状態が3秒以上続くと、その箇所にトラックマークが自動で付きますが、音源からのノイズなどによって、トラックマークが付かない場合もあります。

※ラジオを録音するとき自動でトラックマークを付けたい場合(P.73参照)

※分割したトラックはあとで編集することができます。(P.50 ～参照)

MD 編集

MD に録音した曲の消去や移動ができるほか、2 曲を
1 曲にしたり、1 曲を 2 曲に分けることができます。



MDの曲を消す（ERASE）

MD に録音した曲を消します。再生中の場合は、再生中の曲だけを消すことができます。

- 消した曲の後ろのトラック番号は自動的に調節されます。一度消した曲はもとに戻せません。本操作を行うときはご注意ください。
- [MD ►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
  切り換えると再生が始まるので、[AUTO/MONO ■] キーを押して再生を停止します。
- （グループモード）が点灯している場合は、[P.MODE] を押してグループモードを解除します。
- **PGM**（プログラムモード）が点灯している場合は、[P.MODE] を押してプログラム再生モードを解除します。

1 [MD EDIT]キーを押す

停止している場合	再生中の場合
EDIT TRACK	▶DIVIDE ?

[SET]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

▶ERASE ?

[SET]キーを押す

2 [MULTI CONTROL]キーで消したい曲を選ぶ

停止している場合

ALL ERASE ?

全曲消す場合

003 ERASE ?

例）３曲目を消す場合

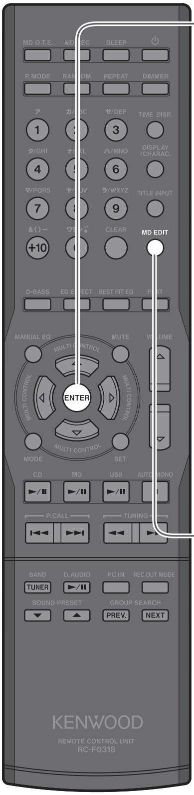
[SET]キーを押す

再生中の場合

※再生していた曲が表示され、他の曲を選ぶことはできません。
手順3へ進む。

関連情報 ●MDグループ編集→P.60 ～

MD



3 確認して、実行する

停止している場合	再生中の場合
ALL ERASEok? 全曲消す場合の表示	003 ERASEok?
003 ERASEok? 1曲消す場合の表示	

[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押します。

■編集した内容を取り消すには（P.67参照）

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

■編集を確定するには

本　体

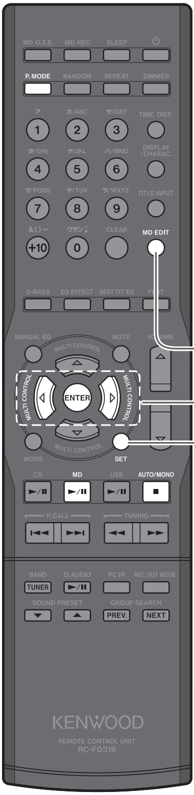
MD ⏏

MDを取り出します。

※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

Point

※MDの誤消去防止つまみが開いていると、操作を実行しても「PROTECTED」と表示され、曲を消すことができません。



MDの曲を移動する（MOVE）

曲のトラック番号を変更することで、曲の並び順を変えることができます。曲を移動すると、他の曲のトラック番号は自動的に調整されます。繰り返し行うことで、全曲を好きな順序に並べ変えることができます。再生中の場合は、再生中の曲だけを移動できます。

- MD [►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
  切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO [■] キーを押して再生を停止します。
- （グループモード）が点灯している場合は、P.MODE [ ] を押してグループモードを解除します。
- **PGM**（プログラムモード）が点灯している場合は、P.MODE [ ] を押してプログラム再生モードを解除します。

1 [MD EDIT]キーを押す

※ディスクに1曲だけしか入っていない場合は移動できません。

停止している場合	再生中の場合
EDIT TRACK	▶DIVIDE ?
[SET]キーを押す ▼	▼ **[MULTI CONTROL]**キーで選ぶ
▶MOVE ?	▶MOVE ?

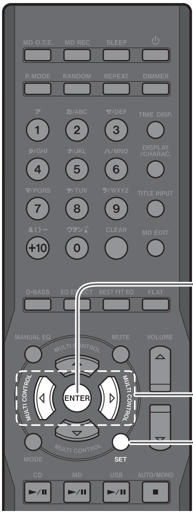
▼ **[SET]**キーを押す

2 [MULTI CONTROL]キーで移動する曲を選ぶ

停止している場合	再生中の場合
010 MOVE ?	※再生していた曲が自動的に選択されます。手順3へ進む。
例）10曲目を移動する場合	

▼ **[SET]**キーを押す

関連情報 ●MDグループ編集→P.60 ～



3 [MULTI CONTROL]キーで曲の移動先を選ぶ

006/007　　　?

▼

[SET]キーを押す

例）移動先に7曲目（6曲目と7曲目の間）を選択し場合

※1曲目は[TOP]、最後の曲は[END]と表示されます。

4 確認して、実行する

▶MOVE　　ok?

▼

[ENTER]キーで確定する



■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押します。

■編集した内容を取り消すには（P.67参照）

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

■編集を確定するには

本　体

MD ⏏

MDを取り出します。

※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

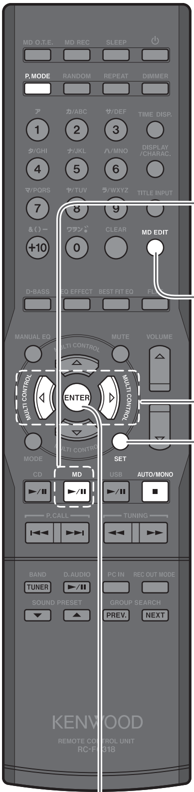
Point

※MDの誤消去防止つまみが開いていると、操作を実行しても[PROTECTED]と表示され曲を移動することができません。

※曲の移動先が別のグループの場合は移動後、そのグループに登録されます。グループについては（P.60 ～参照）

MDの曲をつなぐ（COMBINE）

２つの曲をつないで、１曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。



- MD [►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
  切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO [■] キーを押して再生を停止します。
- （グループモード）が点灯している場合は、P.MODE を押してグループモードを解除します。
- **PGM**（プログラムモード）が点灯している場合は、P.MODE を押してプログラム再生モードを解除します。

1 先頭になる曲を再生する

2 [MD EDIT]キーを押す

※ディスクに1曲だけしか入っていない場合は曲をつなげません。

▶DIVIDE　　?

※再生中の曲は一時停止状態となります。

▼

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

▶COMBINE　　?

▼

[SET]キーを押す

3 [MULTI CONTROL]キーで後ろになる曲を選ぶ

再生中の曲　後ろにつなぐ曲

002+005　　?

例）2曲目と5曲目をつなぐ場合

▼

[SET]キーを押す

4 確認して、実行する

002+005　ok?

▼

[ENTER]キーで確定する

関連情報
●MDをグループごとに再生する→P.43
●MDグループ編集→P.60 ～



■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押します。

■編集した内容を取り消すには（P.67参照）

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

■編集を確定するには

本　体

MD ⏏

MDを取り出します。

※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

Point

※異なる録音モードの曲はつなぐことができません。(例:LP4+LP2 など)Net MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲も、つなぐことができません。

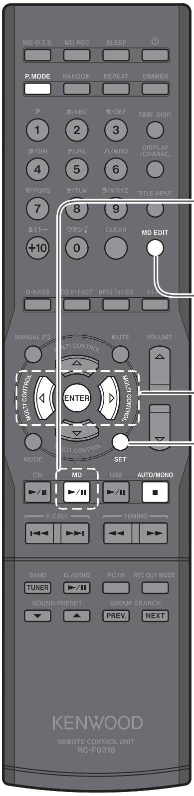
※異なるグループの曲をつなげた場合は、先頭になる曲と同じグループに登録されます。グループについては(P.60～参照)

※つないだ曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。

1曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中にトラック番号を追加して曲を分割します。特に聞きたいところにトラック番号を追加しておくと、スキップできるので便利です。分けたいポイントを繰り返し聞きながら微調整することができます。

- MD [►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
  切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO [■] キーを押して再生を停止します。
- 🗀（グループモード）が点灯している場合は、P.MODE を押してグループモードを解除します。
- **PGM**（プログラムモード）が点灯している場合は、P.MODE を押してプログラム再生モードを解除します。



1 MDの曲を再生し、分けたいポイントで一時停止する

2 [MD EDIT]キーを押す

▶DIVIDE ?

※再生中の曲は一時停止状態となります。

[SET]キーを押す

▼

005<>006 ?

例）5曲目を分けたい場合

ポイントを調整する場合

[SET]キーを押す

▼

PREV 2s -5

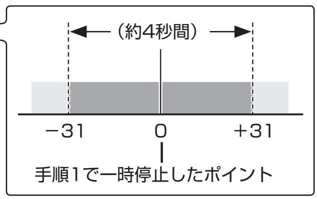
[MULTI CONTROL]キーで曲を分けるポイントを調整する

▼

[SET]キーを押す

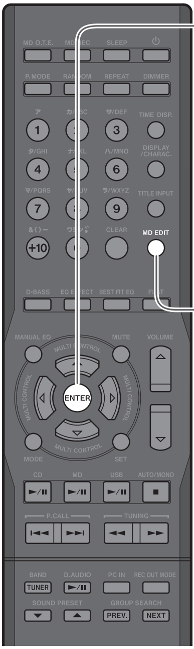
ポイントを調整しない場合

[ENTER]キーを押して手順3へ進む



※分割ポイントは、一時停止した所から−31〜+31(前後約2秒間)の範囲で微調整できます。

※調整を行うために、分割ポイントから約2秒間の再生が繰り返されます。



3 確認して、実行する

005<>006 ok?

▼

[ENTER]キーで確定する

■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押します。

■編集した内容を取り消すには（P.67参照）

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

■編集を確定するには

本　体

MD ≜

MDを取り出します。

※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

Point

※分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。

※トラック番号が最大254まで曲を分割できます。

※グループ登録した曲を分けた場合も、分けた曲から後ろの曲は、トラック番号が自動的に調整されます。グループの範囲が変わることはありません。

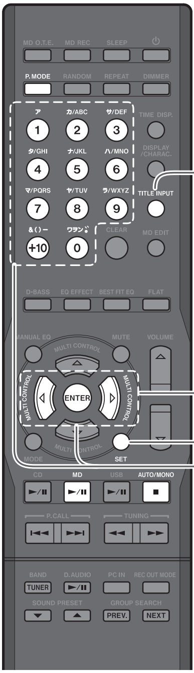
曲名、ディスク名を入力する

曲名、ディスク名を入力したり変更することができます。

● MD [►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO [■] キーを押して再生を停止します。

● (グループモード)が点灯している場合は、P.MODE [ ] を押してグループモードを解除します。

● **PGM**(プログラムモード)が点灯している場合は、P.MODE [ ] を押してプログラム再生モードを解除します。



1 [TITLE INPUT]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで曲名やディスク名を選ぶ

再生中の場合	停止中の場合
001 :........	DISC:........

[SET]キーを押す

2 数字キーで文字を入力する

HAPP_ ⇐Aa

文字を入力後、
[ENTER]キーで確定する

※文字の入力は次ページの「文字入力のしかた」をご覧ください。

※他の曲名を変更する場合は、続けて手順1 ~ 2を繰り返し行ってください。

例) HAPPY と入力する場合

文字	キー	押す回数
H	4	2回押します
A	2	1回押します
P	7	1回押します
カーソルを移動	▷	1回押します
P	7	1回押します
Y	9	3回押します



■**途中でやめるには**

[TITLE INPUT]キーを押す

■**編集を確定するには**

本 体 MD ⏏

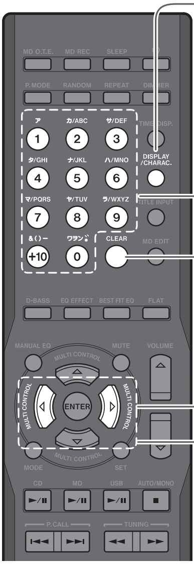
MDを取り出します。
※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

■**編集した内容を取り消すには(P.67参照)**

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

Point
※MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。(P.59参照)

文字入力のしかた



1 [DISPLAY/CHARAC.]キーを押して文字グループを選ぶ

押すごとに切り換わります。

← Aa ▶ ← 12 ▶ ← アァ

アルファベット　数字　カタカナ

2 数字キーで文字を入力する

例）グループ[Aa]で ② を押したときの表示。

A ▶ B ▶ C ▶ a ▶ b ▶ c

押すごとに切り換わります。

※詳しくは下記のタイトル編集文字一覧表をご覧ください。

■文字を消すときは

[MULTI CONTROL]キーでカーソルを移動し、**[CLEAR]**キーを押します。

■文字を挿入するときは

[MULTI CONTROL]キーで挿入する箇所にカーソルを移動し、文字を入力します。

入力できる文字数

・MD全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。
・カタカナを使用したり、曲数が多い場合は、入力できる文字数が少なくなります。
・スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じデータを必要とします。

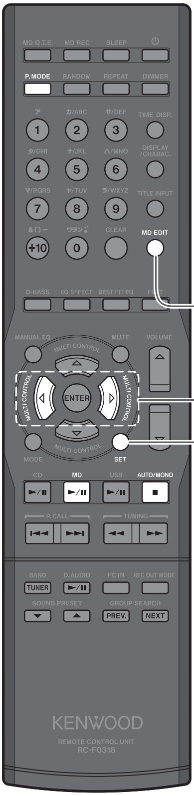
【タイトル編集文字一覧表】

数字キー ＼ グループ		Aa	12	アァ
①	1ア	□（スペース）	1	アイウエオァィゥェォ
②	2カABC	A B C a b c	2	カキクケコ
③	3サDEF	D E F d e f	3	サシスセソ
④	4タGHI	G H I g h i	4	タチツテトッ
⑤	5ナJKL	J K L j k l	5	ナニヌネノ
⑥	6ハMNO	M N O m n o	6	ハヒフヘホ
⑦	7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マミムメモ
⑧	8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤユヨャュョ
⑨	9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラリルレロ
⓪	0ワヲン゛゜	□（スペース）	0	゛゜ ワヲン
+10	+10 ' , !	' , : ? ! ; . " _ ` $ □（スペース） & ( ) - / + * = < > # % @		

※゛（濁点）゜（半濁点）はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
※ディスクタイトル、グループタイトルには/（スラッシュ）を連続して入力しないでください。
　グループ登録が正しく認識できなくなる場合があります。

MD グループ編集

MD 内の連続した曲をグループとして登録することができます。
登録したグループは名前をつけたり、範囲を変更できます。



グループ登録する

ステレオ長時間モード (LP2 または LP4) などで複数のアルバムやたくさんの曲を録音すると、曲を管理するのが大変になります。曲をグループに分けると、曲数の多い MD が使いやすくなります。グループの範囲や、グループ名はあとから変更することもできます。

- MD [►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
  切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO [■] キーを押して再生を停止します。
- (グループモード) が点灯している場合は、P.MODE を押してグループモードを解除します。
- **PGM** (プログラムモード) が点灯している場合は、P.MODE を押してプログラム再生モードを解除します。

1 [MD EDIT]キーを押す

```
EDIT TRACK
```

▼

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

```
EDIT GROUP
```

[SET]キーを押す

▼

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

```
▶GRP START ?
```

▼

[SET]キーを押す

2 グループの先頭曲を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

```
010-010
```

例）10曲目をグループの先頭曲に選んだ場合。

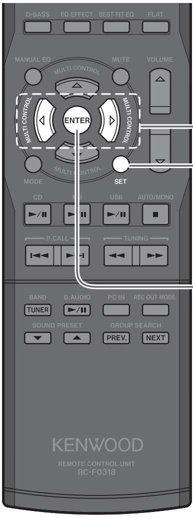
▼

[SET]キーを押す

※他のグループに登録されている曲は、選ぶことはできません。

関連情報
●MDをグループごとに再生する→P.43
●MDの曲を移動する→P.52
●グループ名、曲名を入力・変更する→P.64

MD



3 グループの最終曲を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

`010-016`

例）16曲目をグループの最終曲に選んだ場合。

※他のグループに登録されている曲は、選ぶことはできません。

※グループは1曲だけでも登録できます。

▼

[SET]キーを押す

4 確認して、実行する

`010-016  ok?`

▼

[ENTER]キーで確定する



■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押します。

■編集した内容を取り消すには（P.67参照）

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

■編集を確定するには

本　体

MD ⏏

MDを取り出します。

※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。 MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

Point

グループ登録とは

CDをワンタッチエディット録音（全曲録音、プログラム録音）したときの曲が、自動的にひとつのグループとして登録されます。初期設定では録音時にグループ登録される設定になっています。

※グループ作成時のグループ名は、自動的にGROUP01からはじまる連番になっています。名前を変更する場合（P.64参照）

※連続した曲だけがひとつのグループにまとめられます。連続してない曲をグループに入れたいときは、あらかじめ曲を移動してください。（P.52参照）

※MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。（P.59参照）

グループ範囲を変更する

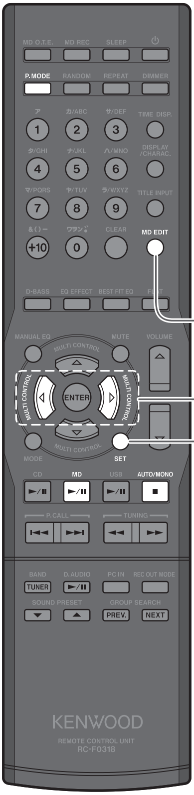
グループの先頭曲と最終曲を再選択し、グループの範囲を変更します。

● [MD ►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
切り換えると再生が始まるので、[AUTO/MONO ■] キーを押して再生を停止します。

● 🗀（グループモード）が点灯している場合は、[P.MODE] を押してグループモードを解除します。

● **PGM**（プログラムモード）が点灯している場合は、[P.MODE] を押してプログラム再生モードを解除します。

●連続してない曲をグループに入れたい場合は、あらかじめ曲を移動してください。



1 [MD EDIT]キーを押す

EDIT TRACK

▼

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

EDIT GROUP

[SET]キーを押す

▼

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

▶GRP EDIT ?

▼

[SET]キーを押す

2 範囲を変更するグループを選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

004-012 GROU

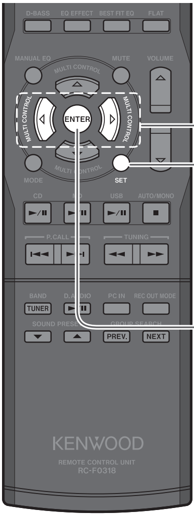
例）4曲目から12曲目のグループを選んだ場合。

▼

[SET]キーを押す

関連情報
●MDをグループごとに再生する→P.43
●グループ名、曲名を入力・変更する→P.64

MD



3 グループの先頭曲、最終曲を変更する

先頭曲を
[MULTI CONTROL]キーで変更

`-012`

[SET]キーを押す

最終曲を
[MULTI CONTROL]キーで変更

`004-`

[SET]キーを押す

4 確認して、実行する

`006-010  ok?`

[ENTER]キーで確定する



■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押します。

■編集した内容を取り消すには（P.67参照）

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

■編集を確定するには

本　体

MD ⏏

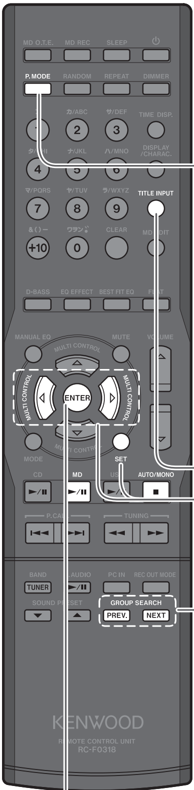
MDを取り出します。

※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

Point

※MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。（P.59参照）

グループ名、曲名を入力・変更する



グループ名、曲名を入力したり変更することができます。

● MD [►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO [■] キーを押して再生を停止します。

1 [P.MODE]キーを押してグループモードを選ぶ

押すごとに切り換わります。

点灯 ▶ PGM点灯 ▶ PGM消灯

- 点灯：グループモード
  ※グループ登録されたMDを入れている場合のみ。
- PGM点灯：プログラムモード
- PGM消灯：グループモードプログラムモードを解除します

2 [GROUP SEARCH]キーで変更するグループを選ぶ

3 [TITLE INPUT]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで
変更するグループ名、曲を選ぶ

グループの場合	曲の場合
G02 :........	016 :........

[SET]キーを押す

4 文字を入力する（P.58の手順2を参照）

文字入力後、**[ENTER]**キーで確定する。



■途中でやめるには

[TITLE INPUT]キーを押す

■編集した内容を取り消すには（P.67参照）

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

■編集を確定するには

本　体　MD ⏏

MDを取り出します。

※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

Point ※MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。（P.59参照）

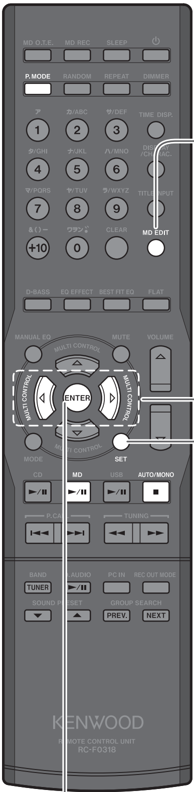
関連情報
●MDをグループごとに再生する→P.43
●文字入力のしかた→P.59

MD

グループを解除する

登録したグループを解除します。

- ● MD [►/II] キーを押して、音源をMDに切り換えます。
  切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO [■] キーを押して再生を停止します。
- ● (グループモード) が点灯している場合は、P.MODE を押してグループモードを解除します。
- ● **PGM** (プログラムモード) が点灯している場合は、P.MODE を押してプログラム再生モードを解除します。



1 [MD EDIT]キーを押す

EDIT TRACK

▼

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

EDIT GROUP

[SET]キーを押す

▼

▶GRP CANCEL?

▼

[SET]キーを押す

2 解除するグループを選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

すべてのグループを解除する場合	▶	ひとつのグループを解除する場合
ALL GROUP		004-012 GROU

[SET]キーを押す

3 確認して、実行する

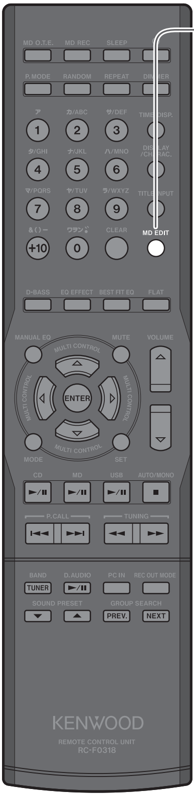
004-012 ok?

▼

[ENTER]キーで確定する

次ページに続く

グループを解除する（つづき）



■途中でやめるには

[MD EDIT]キーを押します。

■編集した内容を取り消すには（P.67参照）

・「MD WRITING」前ならそれまで行った編集を取り消すことができます。

■編集を確定するには

本　体

MD ⏏



MDを取り出します。

※このとき編集した内容がMDに書き込まれています。MD WRITING 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。

Point

※MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。（P.59参照）

関連情報
●MD編集→P.50 〜
●MDグループ編集→P.60 〜

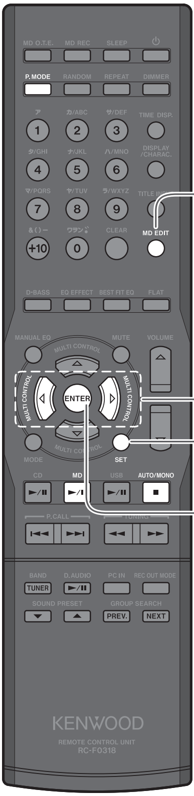
編集した内容を取り消す

**編集内容は MD WRITING（MD への書込み）が行われる前なら取り消すことができます。
MD を取り出す前、電源をオフにする前、録音する前に行ってください。**

● MD ►/II キーを押して、音源をMDに切り換えます。
切り換えると再生が始まるので、AUTO/MONO ■ キーを押して再生を停止します。

● 🗀（グループモード）が点灯している場合は、P.MODE を押してグループモードを解除します。

● **PGM**（プログラムモード）が点灯している場合は、P.MODE を押してプログラム再生モードを解除します。



1 [MD EDIT]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

```
▶CANCEL      ?
```

※キャンセルできる編集内容がない場合は「×CANCEL」と表示されます。

▼

[SET]キーを押す

2 確認して、実行する

```
CANCEL    ok?
```

▼

[ENTER]キーで確定する

Point
※一度取り消した編集はもとに戻りません。必要な場合は、もう一度初めから編集を行ってください。

MD グループ編集
音質設定編
機器設定編
保守編

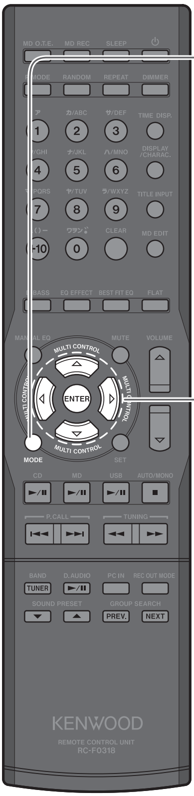
MD 録音設定

MD に録音するときのさまざまな設定をします。

録音スピードを設定する（O.T.E. SPEED）

CD から MD に録音する場合、**[MD O.T.E.]** キーを押すだけで録音する（ワンタッチエディット録音）ことができます。その際の録音スピードを、通常速度・4 倍速から選んで設定することができます。

※初期設定はHIGH（4倍速録音）です。



1 [MODE]キーを押す

O.T.E.SPEED

▼

[ENTER]キーを押す

2 録音スピードを選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

HIGH

HIGH ― HIGHの場合にだけ表示される

4倍速の録音

▼

NORMAL

通常速度の録音

▼

[ENTER]キーで確定する

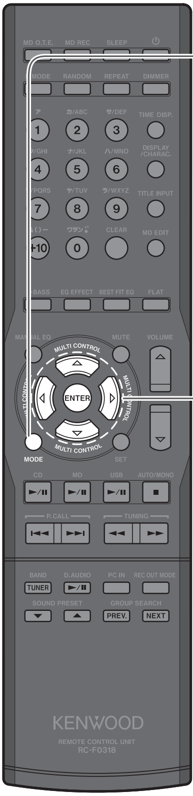
Point

※いったん4倍速録音を始めると、録音を始めてから74分以内に同じCDまたは同じ曲を4倍速録音することはできません。

※HIGHを選んだ場合は、録音の入力信号が自動的に「デジタル」に切り換わります。「録音時の入力信号を設定する」（P.69参照）

録音時の入力信号を設定する（MD REC INPUT）

MD に録音する際の入力信号を、デジタル、アナログ、EQ REC から設定します。EQ REC ではイコライザーで設定したサウンド効果をコピーすることができます。



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

MD REC INPUT

▼

[ENTER]キーを押す

2 入力信号を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

DIGITAL

▼

EQ REC　（DIGITAL EQ REC）―点灯

▼

ANALOG　（ANALOG）―点灯

▼

[ENTER]キーで確定する

Point

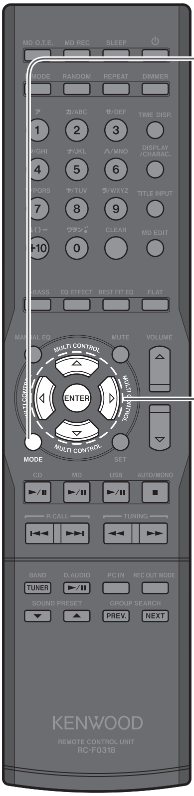
※電源をオフにすると設定は解除され、すべてデジタル入力になります。

※「EQ REC」モード時、デジタル信号のクリップを防ぐため、スピーカーおよびヘッドホンからの音量、ならびに録音される音量は多少小さくなります。

録音モードを設定する（MD REC MODE）

MD への録音モードを、ステレオ、長時間モード、
モノラル録音モードから選んで設定します。

※初期設定はステレオ、LP：STAMPがオンになっています。



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

MD REC MODE

▼

[ENTER]キーを押す

2 録音モードを選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

STEREO

ステレオで録音します。録音可能時間はディスクに表記されている時間になります。音質を重視する場合にお勧めします。

▼

LP2

音声はステレオのまま、録音可能時間はディスクに表記されている時間の2倍になります。音質は「STEREO」より若干劣ります。

▼

LP4

音声はステレオのまま、録音可能時間はディスクに表記されている時間の4倍になります。音質は「LP2」より若干劣ります。

▼

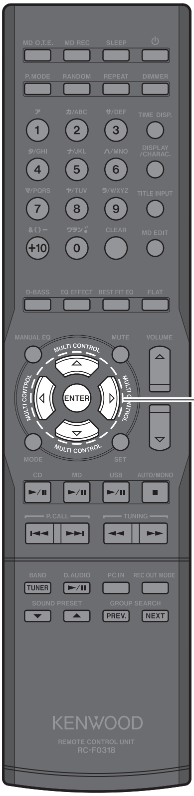
MONO

モノラルで録音します。録音可能時間はディスクに表記されている時間の2倍になります。

▼

[ENTER]キーで確定する

関連情報
●MD編集→P.50 ～
●MDグループ編集→P.60 ～



3 「LP：STAMP」のオン、オフを設定する

※手順2でLP2またはLP4を選んだ場合のみ設定します。
※「LP：」をつけない場合は「OFF」を選びます。

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

LP:STAMP ON

▼

LP:STAMP OFF

▼

[ENTER]キーで確定する

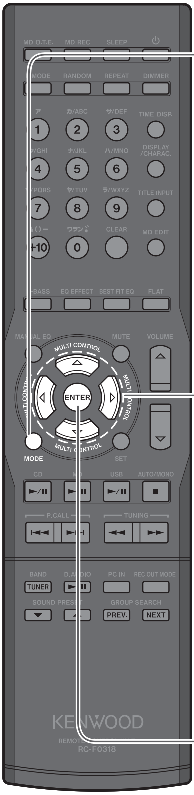
Point

LP：STAMP機能とは
MDに録音するとき、LP2またはLP4で録音された曲のタイトルの先頭に「LP：」を自動でつける機能です。本機ではこの機能のON（「LP:」をつける）とOFF（「LP：」をつけない）を設定することができます。「LP：」はMDLPに対応していない機器でLP2またはLP4で録音した曲を再生しているときだけタイトルとして表示されます。「LP：」もタイトル文字数に含まれるため、タイトルの編集ができない場合もあります。（本機はMDLP対応のため表示されません。）

グループ登録するか設定する（GROUP MAKE）

MD に録音した曲をひとつのグループとして登録するか設定します。

※初期設定はグループ登録する設定になっています。
※ワンタッチエディット録音（全曲録音、プログラム録音）のみ有効です。（P.46参照）



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

GROUP MAKE

▼

[ENTER]キーを押す

2 「ON」または「OFF」を選ぶ

GROUP ON

※ワンタッチエディット録音（全曲録音、プログラム録音）のみ、自動的にひとつのグループとして登録されます。

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

ON ▶ OFF

- ON：録音した曲をグループ登録します。
- OFF：録音した曲をグループ登録しません。

3 [ENTER]キーで確定する

Point

※登録されたグループは、録音終了後に編集できます。（P.60 〜参照）

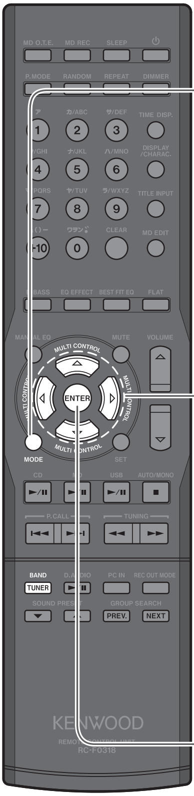
関連情報
●録音時のトラック分割→P.49
●MDグループ編集→P.60 ～

MD

トラックマークの間隔を設定する（AUTO MARK）

ラジオ放送を MD に録音する場合、自動的に一定の間隔でトラックマークを記録することができます。トラックマークの間隔を、5 分、10 分、OFF から選びます。

● BAND TUNER キーを押して、音源をラジオに切り換えます。
※初期設定は5分間隔になっています。



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

AUTO MARK

※ラジオ以外の音源が選択されていると、「AUTO MARK」の設定はできません。

▼

[ENTER]キーを押す

2 間隔を設定する

A.MARK 5min

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

5 min. ▶ 10 min. ▶ OFF

- 5 min.：5分間隔でトラックマークを付けます。
- 10 min.：10分間隔でトラックマークを付けます。

3 [ENTER]キーで確定する

Point
※録音中にトラックマークを手動でつける場合（P.49参照）

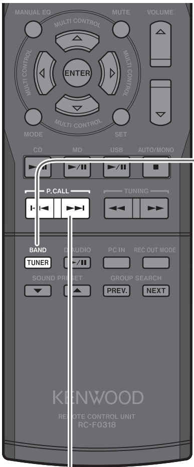
FM/AM ラジオ

FM/AM ラジオを聞いたり、放送局をセットします。

FM/AMラジオを聞く

FM/AM の放送局を選んで聞きます。

●リモコンの BAND TUNER キーを押すだけで本機の電源がオンになります。



1 [TUNER]キーを押してFMまたはAMを選ぶ

押すごとに、FMとAMが切り換わります。

2 放送局を選ぶ

記憶させている放送局から選ぶ場合（プリセットコール）

記憶させてある放送局を選びます。
※プリセットについてはP.76、P.78参照。

■[P.CALL]キーで選ぶ場合

■数字キーで選ぶ場合

P17なら (+10)、(7) を押す

P23なら (+10) ×2回、(3) を押す



関連情報
●MDに録音する→P.48
●デジタルオーディオプレーヤーに録音する→P.83
●音質設定(いい音で聞く方法)→P.85 ～

記憶させていない放送局を選ぶ場合（オート選局/マニュアル選局）

■オート選局の場合は

押すごとに次の放送局を自動で受信します。お好みの放送局を受信するまで操作を繰り返してください。

■マニュアル選局の場合は

受信するまで、または受信したい周波数になるまで押してください。
押し続けると周波数が早送りになります。

リモコン操作の場合



❶オート選局かマニュアル選局かを選びます。

[AUTO/MONO]キーを押す

押すごとに切り換わります。

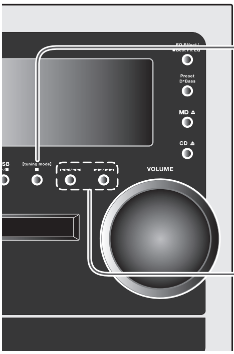
AUTO点灯 ▶ AUTO消灯

AUTO点灯	AUTO消灯
オート選局（電波状況の良いときに選びます）	マニュアル選局（電波状況の悪いときに選びます）

❷放送局を選びます。

[TUNING]キーで選ぶ

本体操作の場合



❶オート選局かマニュアル選局かを選びます。

[tuning mode]

押すごとに切り換わります。

AUTO

または

MANUAL

❷放送局を選びます。

⏮/◀◀　▶▶/⏭

※8秒以内にキーを操作してください。

Point

※オート選局/マニュアル選局中は音が出ません。

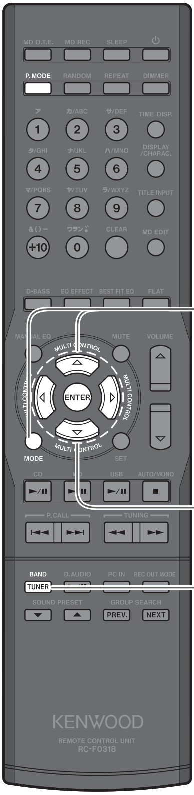
※オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。受信すると「TUNED」が点灯します。ステレオ受信すると「STEREO」が点灯します。

放送局を自動で記憶させる（オートプリセット）

お住まいの都道府県と、隣接する都道府県の放送局を自動的に記憶させます。記憶する放送局は次のページの「放送局名自動表示リスト」にある放送局のみに対応しています。プリセットされる放送局数は県によって異なります。プリセット番号 P01 から順にセットされます。

※ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。

※放送局はFM、AM合わせて最大30局まで記憶させることができます。



1 [TUNER]キーを押してFMまたはAMを選ぶ

押すごとに、FMとAMが切り換わります。

※他の音源が選ばれていると、放送局を記憶させることができません。

2 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

ケンメイ　セッテイ

▶ **[ENTER]**キーを押す

3 お住まいの都道府県名を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

トウキョウ

例）東京都を選んだ場合

▶ **[ENTER]**キーを押す

※ディスプレイに［AUTO PRESET］が点滅して放送局が記憶されます。記憶後はプリセット番号P01を受信した状態になります。

※すでに記憶されている周波数も書き換えることができます。

Point

※プリセットしても電波状況が悪い場合は、受信できません。

※放送局名自動表示リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットで記憶します。（P.78参照）

※地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されない場合は、リモコンの P.MODE キーを押すことにより別の放送局名に切り換えることができます。

※電波状況が悪く「TUNED」が点灯していないと放送局名は表示されません。

関連情報
●FM/AMラジオを聞く→P.74
●放送局を手動で記憶させる（マニュアルプリセット）→P.78

【放送局名自動表示リスト（五十音順）】

※放送局名は変更されることがあります。

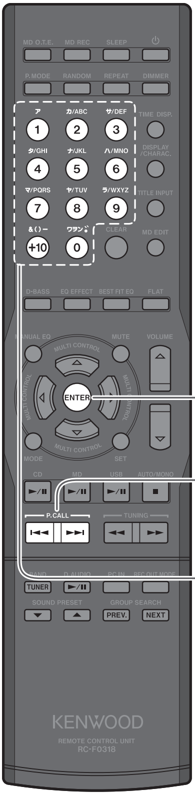
都道府県名	放送局	表示名
	NHK-FM	NHK-FM
愛知県	㈱エフエム愛知	FM AICHI
愛知県	㈱ZIP-FM	ZIP-FM
愛知県	愛知国際放送㈱	RADIO-i
青森県	㈱エフエム青森	FMｱｵﾓﾘ
秋田県	㈱エフエム秋田	FMｱｷﾀ
石川県	㈱エフエム石川	FM ISHIKAWA
岩手県	㈱エフエム岩手	FM IWATE
愛媛県	㈱エフエム愛媛	FMｴﾋﾒ
大分県	㈱エフエム大分	FM OITA
大阪府	㈱FM802	FM802
大阪府	㈱エフエム大阪	fm osaka
大阪府	関西ｲﾝﾀｰﾒﾃﾞｨｱ㈱	FM CO･CO･LO
岡山県	岡山エフエム放送㈱	FMｵｶﾔﾏ
沖縄県	AFN沖縄	AFNｵｷﾅﾜ
沖縄県	㈱エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK第一	NHKﾗｼﾞｵ1
香川県	㈱エフエム香川	Fm FMｶｶﾞﾜ
鹿児島県	㈱エフエム鹿児島	ﾐｭ-FM
神奈川県	横浜エフエム放送㈱	Fm Yokohama
岐阜県	岐阜エフエム㈱	Radio 80
京都府	㈱エフエム京都	FMｷｮｳﾄ
熊本県	㈱エフエム熊本	FMK
群馬県	㈱エフエム群馬	FM GUNMA
高知県	㈱エフエム高知	FM KOCHI
埼玉県	㈱FM NACK5	NACK5
佐賀県	㈱エフエム佐賀	FMｻｶﾞ
滋賀県	㈱エフエム滋賀	e-radio
静岡県	静岡エフエム放送㈱	K-MIX

都道府県名	放送局	表示名
島根県	㈱エフエム山陰	fm-sanin
千葉県	㈱ベイエフエム	bayfm
東京都	ｴﾌｴﾑｲﾝﾀｰｳｪｰﾌﾞ㈱	InterFM
東京都	㈱J-WAVE	J-WAVE
東京都	㈱エフエム東京	TOKYO FM
東京都	放送大学	ﾎｳｿｳﾀﾞｲｶﾞｸ
徳島県	㈱エフエム徳島	FMﾄｸｼﾏ
栃木県	㈱エフエム栃木	RADIO BERRY
富山県	富山エフエム放送㈱	FMﾄﾔﾏ
富山県	北日本放送㈱	KNBﾗｼﾞｵ
長崎県	㈱エフエム長崎	Smile-FM
長野県	長野エフエム放送㈱	FM NAGANO
新潟県	㈱エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA
新潟県	新潟県民エフエム放送㈱	FM PORT
兵庫県	㈱Kiss-FM KOBE	Kiss-FM
広島県	広島エフエム放送㈱	ﾋﾛｼﾏFM
福井県	福井エフエム放送㈱	FMFUKUI
福岡県	㈱エフエム九州	CROSS FM
福岡県	㈱エフエム福岡	fm fukuoka
福岡県	㈱九州国際エフエム	Love FM
福島県	㈱エフエム福島	ﾌｸｼﾏFM
北海道	㈱エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE
北海道	㈱エフエム北海道	AIR-G'
三重県	三重エフエム放送㈱	Radio3 FMﾐｴ
宮城県	㈱エフエム仙台	Date fm
宮崎県	㈱エフエム宮崎	JOY FM
山形県	㈱エフエム山形	BOY FM
山口県	㈱エフエム山口	FMﾔﾏｸﾞﾁ
山梨県	㈱エフエム富士	FM-FUJI

放送局を手動で記憶させる（マニュアルプリセット）

放送局を選択して好きなプリセット番号に登録します。すでに、放送局が記憶されているプリセット番号に登録すると、新しい放送局に変更されます。

※放送局はFM、AM合わせて最大30局まで記憶させることができます。



1 記憶させたい放送局を選び、[ENTER]キーを押す

プリセットに登録したい放送局を、オート選局またはマニュアル選局で選びます。（P.75参照）



プリセット番号を表示するところが点滅

2 記憶させたいプリセット番号（P1 ～ P30）を選ぶ

■[P.CALL]キーで選ぶ場合



選んだプリセット番号が表示される

■数字キーで選ぶ場合

P17なら (+10)、(7) を押す

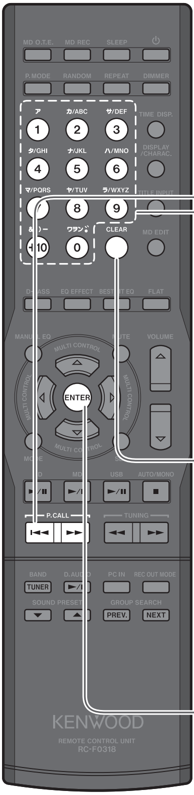
P23なら (+10) ×2回、(3) を押す

※すでに放送局が記憶されているプリセット番号を選ぶと、新しい設定に変更されます。

3 [ENTER]キーを押して確定する

記憶させた放送局を消す

プリセットに登録した放送局をプリセットから消します。



1 消したい放送局のプリセット番号を選ぶ

■[P.CALL]キーで選ぶ場合



例）P29を選んだ場合

■数字キーで選ぶ場合

P17なら (+10)、(7) を押す

P23なら (+10) ×2回、(3) を押す

2 [CLEAR]キーを押す



※ディスプレイに「CLEAR?」と20秒間表示されます。

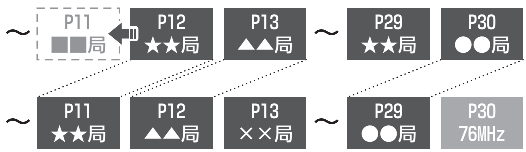
※プリセット番号P30を選ぶと「CAN'T CLEAR」と表示されます。P30は消せません。

3 [ENTER]キーを押して放送局を消す

ディスプレイに「CLEAR？」と20秒間表示されている間に、**[ENTER]**キーを押してください。

■放送局を消すとプリセット番号は？

例）P11の「■■局」を消すと



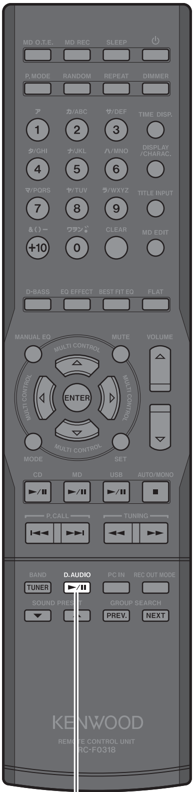
後ろのプリセット番号が前に繰り上がります。

空いてしまうプリセット番号には自動的にFM76MHzが記憶される。

FM/AM
音質設定編
機器設定編
保守編

D.AUDIO

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー（以下「デジタルオーディオプレーヤー」といいます）を接続して再生したり、本機からデジタルオーディオプレーヤーに録音することができます。



デジタルオーディオプレーヤーを接続して再生する

デジタルオーディオプレーヤーを本機に接続して再生します。

●接続するデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書も併せてご覧ください。

●別売の専用ケーブルPNC-150を使って接続すると、本機やリモコンでデジタルオーディオプレーヤーを操作できます。

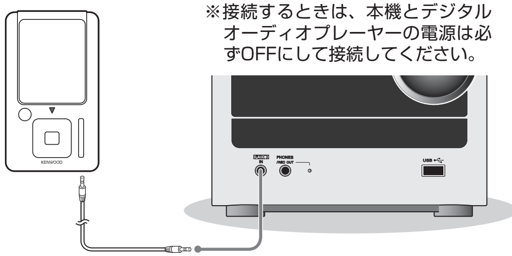
接続可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー

HDDオーディオプレーヤー	メモリオーディオプレーヤー
HD20GA7 HD30GA9 HD30GB9 HD10GB7	M1GB5/M512B5 M2GC7/M1GC7 M512C5

2006年12月現在

1 [D.AUDIO IN端子]にデジタルオーディオプレーヤーをケーブルで接続する

※接続するときは、本機とデジタルオーディオプレーヤーの電源は必ずOFFにして接続してください。



2 デジタルオーディオプレーヤーの電源を入れる

3 [D.AUDIO]キーを押して再生する

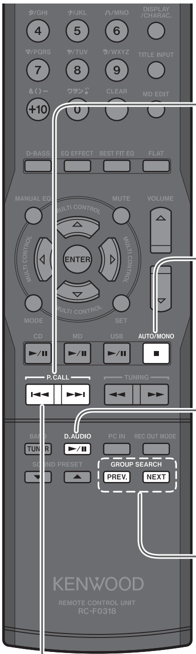
※**[D.AUDIO]**キーを押すだけで本機の電源がオンになります。

※専用ケーブル PNC-150以外で接続した場合は、接続したデジタルオーディオプレーヤー側で操作します。

■専用ケーブル PNC-150で接続した場合

・デジタルオーディオプレーヤーで操作できるほか、本体やリモコンからも操作できます。

【デジタルオーディオプレーヤー再生中のリモコン操作】



早送り / 早戻しをする

再生中に [|◀◀] / [▶▶|] キーを押し続ける。

停止する

AUTO/MONO
[■] キーを押す。

一時停止と再開

[D.AUDIO]キーを押す。

前のフォルダ/ 次のフォルダの曲を再生する

前のフォルダへは**[PREV.]**キーを押す。
次のフォルダへは**[NEXT]**キーを押す。

曲を飛ばす / 前の曲へ戻る / 曲の初めに戻る

曲を飛ばす→ [▶▶|] キーを押す。

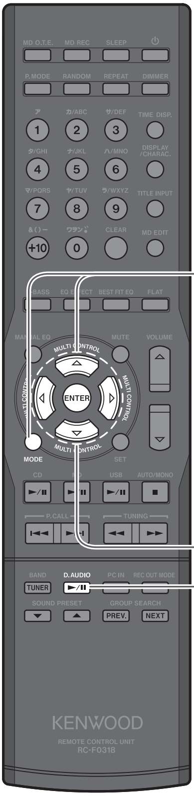
前の曲へ戻る→ [|◀◀] キーを連続して2回以上押す。

曲の初めに戻る→ [|◀◀] キーを1回押す。

Point
※本機へ接続している間はデジタルオーディオプレーヤーの音量、音質設定が無効になります。

外部機器入力レベルの調整

D.AUDIO IN 端子に接続した外部機器の入力レベルを調整することができます。
同じボリュームでも外部機器からの音量がほかの音源より大きく、または小さく感じた場合には調整してください。



1 [D.AUDIO]キーを押して音源を切り換える

2 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

D.AUDIOinput

▼

[ENTER]キーを押す

3 入力レベルを設定する

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

LEVEL -2

※－3～＋5の範囲で選ぶ

▼

[ENTER]キーで確定する

Point

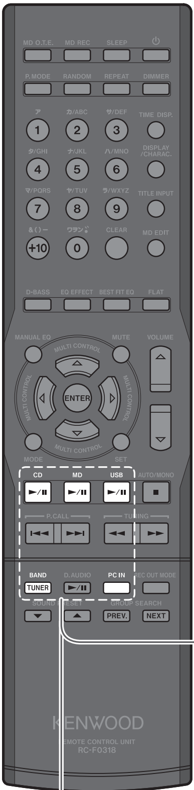
※入力レベルを調整すると、**[D.AUDIO IN端子]**に接続された外部機器から録音する場合、音量も変わります。

デジタルオーディオプレーヤーに録音する

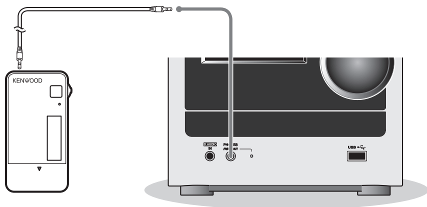
パソコン、CD、MD、USB、ラジオ放送（FMまたはAM）からケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに録音します。デジタルオーディオプレーヤーは無音部分を感知し、自動でトラックを作成することもできます。

- ●本機とデジタルオーディオプレーヤーを接続しておきます。
- ●接続するデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書も併せてご覧ください。
- ●音源となる機器を接続しておきます。

接続可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー	メモリオーディオプレーヤー
2006年12月現在	M1GB5/M512B5 M2GC7/M1GC7



1 PHONES/REC OUT端子にデジタルオーディオプレーヤーのケーブルを接続する



2 録音する音源を選ぶ

[PC IN]キー、**[CD]**キー、**[MD]**キー、**[USB]**キー、**[TUNER]**キーを押して選びます。

3 録音の準備をする

パソコンの場合

録音するコンテンツの準備をします。（P.28参照）

CD、MD、USBの場合

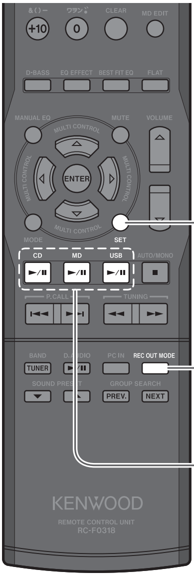
[CD]キー、**[MD]**キー、**[USB]**キーを押し、再生を一時停止します。
録音したい曲を選んだり、録音したい箇所で一時停止します。（P.31、P.35、P.41参照）

ラジオの場合

選局します。（P.74参照）

次ページに続く

デジタルオーディオプレーヤーに録音する（つづき）



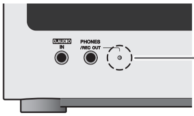
4 [REC OUT MODE]キーを押す

※ヘッドホンをしたまま「REC OUT MODE」に変更すると、音が大きくなることがありますのでご注意ください。



[SET]キーを押す

※5秒以内にキーを操作してください。



本体のREC OUTインジケーターも点灯します。

5 デジタルオーディオプレーヤーを操作して録音を開始する

6 再生を始める

パソコンの場合

パソコンを操作して再生を始めます。

CD、MD、USBの場合

[CD]キー、**[MD]**キー、**[USB]**キーを押し、再生を始めます。

※ラジオの場合、この手順は不要です。



■録音を停止する

AUTO/MONO



キーを押す。

※デジタルオーディオプレーヤーの録音を停止させる場合は、接続しているデジタルオーディオプレーヤーを操作してください。

■録音が終わったら

・**[REC OUT MODE]**キーを押して「REC OUT MODE」を解除します。

「HEADPHONE」と表示されます。

■録音した音が歪む、または小さいと感じた場合

・録音レベルを調整してください。（P.104参照）

音質設定編

ステレオシステムならではの音質設定をお楽しみください。
低音を強調するD-BASSや、それぞれの曲に最適なイコライザーカーブを設定できます。あらかじめ設定（プリセット）されているD-BASS、イコライザーカーブを選べば、手軽にサウンド効果をお試しいただけます。

D-BASS（低音強調）

イコライザー

サウンドプリセット

D-BASS（低音強調）

低音域を楽しむために、D-BASS を設定します。あらかじめ設定された 4 種類のプリセット D-BASS から選んだり、リモコンを使ってさらに細かいレベル調節を行うことができます。
※音源によっては効果がわかりにくいことがあります。

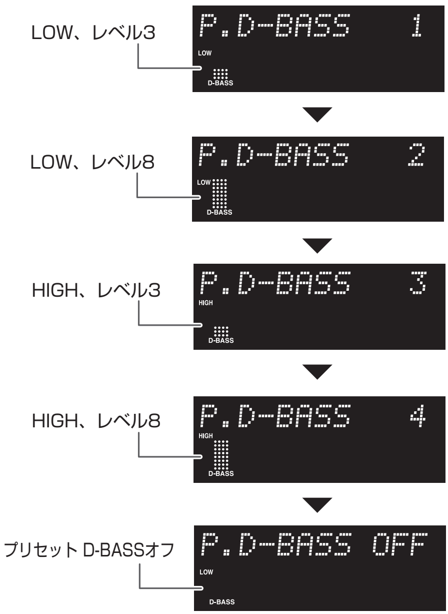
プリセットD-BASSを選ぶ

あらかじめ設定されている 4 種類のプリセット D-BASS から、再生する音に合うものを選ぶことができます。簡単に切り換えられるので、再生しながらお試しください。



1 本体の[Preset D-Bass]キーを押して、好みのプリセットD-BASSを選ぶ

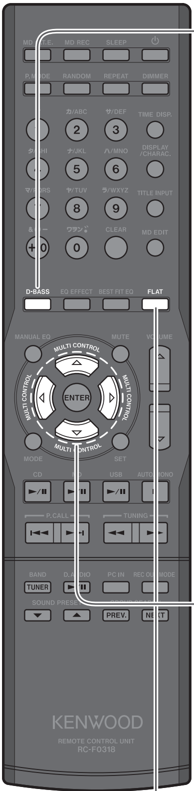
[Preset D-Bass]キーを押すごとに、切り換わります。



関連情報
●イコライザー→P.88 ～
●サウンドプリセット→P.93

D-BASSを調節する

D-BASS をお好みに合わせて調節します。強調する周波数を LOW、HIGH から選び、さらに強調レベルを 10 段階で調節できます。
調節したサウンド効果はサウンドプリセットに登録しておき、いつでも使えます。(P.93 参照)



1 [D-BASS]キーを押して「LOW-BASS」または「HIGH-BASS」を選ぶ



※ディスプレイの「D-BASS」が点滅している間に、**[D-BASS]**キーを押します。

[D-BASS]キーを押すごとに、切り換わります。



重低音の録音レベルが高いソースでは、サブウーファーを追加したような迫力ある重低音を楽しめます。

▼



重低音の録音レベルが低いソース(例：オールディーズ、ポップス)に効果的です。

※ディスプレイは「HIGH BASS」「LOW BASS」を切り換えた5秒後にもとの表示に戻ります。

2 [MULTI CONTROL]キーでレベルを調節する



例）HIGH BASS、強調レベル7

※レベルを0～10の範囲で調節します。数字が大きいほどより強く強調されます。

※ディスプレイはレベル調整した3秒後にもとの表示に戻ります。左下の「D-BASS」が点滅から点灯に変わります。

■一時的に解除する

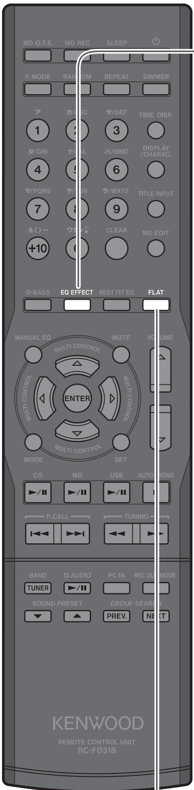
[FLAT]キーを押すと、設定したD-BASSを一時的に解除して、設定前の音質に戻ります。
もう一度**[FLAT]**キーを押すと、設定したD-BASSになります。

イコライザー

イコライザーを使って重低音域から超高音域までを調整して、お好みのサウンド効果を設定できます。
すでに設定されたイコライザーカーブから選んだり、さらに細かく調整することもできます。
※音源によっては効果がわかりにくいことがあります。

設定されたイコライザーカーブを選ぶ（EQ EFFECT）

あらかじめ設定されている 4 種類のイコライザーカーブと、それぞれのジャンルにふさわしい設定をする「BEST FIT EQ」から、音質を選ぶことができます。



1 [EQ EFFECT]キーを押して音質を選ぶ

SOFT
EQ EFFECT

※ディスプレイの「EQ EFFECT」が点滅している間に、**[EQ EFFECT]**キーを押します。

[EQ EFFECT]キーを押すごとに、切り換わります。

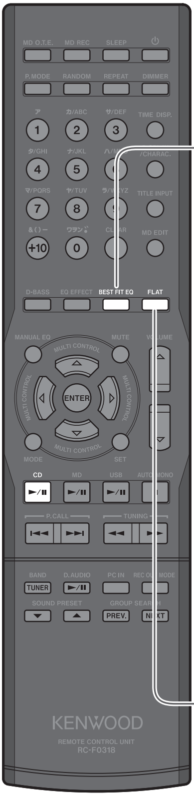
SOFT	BGMなど、ゆったりとした音楽に効果的です。
▼	
CLEAR	ジャズやクラシックなど、高音域を鮮明に聞きたい場合に効果的です。
▼	
HARD	ロックなど、重低音のある曲をメリハリよく楽しめます。
▼	
VOCAL	ボーカルの張りや、つやを強調します。
▼	
BEST FIT	「BEST FIT」は、あらかじめ「BEST FIT EQ」で設定しておく必要があります。（P.89参照）
▼	
EFFECT OFF	OFF

※ディスプレイは音質を切り換えた5秒後にもとの表示に戻ります。右下の「EQ EFFECT」が点滅から点灯に変わります。

■一時的に解除する

[FLAT]キーを押すと、設定した音質を一時的に解除して、設定前の音質に戻ります。
もう一度**[FLAT]**キーを押すと、設定した音質になります。

関連情報
●サウンドプリセット→P.93



CDに最適なイコライザーにする（BEST FIT EQ）

それぞれの CD にふさわしいイコライザーカーブを自動的に検出して、サウンド効果を設定します。
サウンド効果はサウンドプリセットに登録しておき、いつでも使えます。（P.93 参照）

● [CD ►/II] キーを押して、音源をCDに切り換えます。

1 [BEST FIT EQ]キーを押す



※設定中は表示が点滅します。

※自動的に、CDに最適なイコライザーカーブを設定します。

▼



※設定が終了するともとの表示に戻ります。

※設定を保存しておく場合には、サウンドプリセットに登録してください。(P.93参照)

■一時的に解除する

[FLAT]キーを押すと、設定した音質を一時的に解除して、設定前の音質に戻ります。
もう一度**[FLAT]**キーを押すと、設定した音質になります。

Point

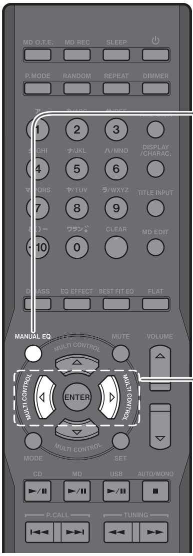
※新たにBEST FIT EQを設定すると前の設定は消えます。設定を保存しておく場合には、サウンドプリセットに登録してください。（P.93参照）

※設定したBEST FIT EQはEQ EFFECTでも呼び出して使うことができます。（P.88参照）

音質設定編

イコライザーを設定する（MANUAL EQ）

本格的な 7 バンドのイコライザーで、お好みのサウンド効果を設定できます。イコライザー設定はサウンドプリセットに登録しておけば、いつでも呼び出せます。（P.93 参照）

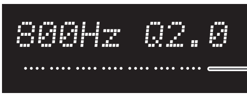


1 [MANUAL EQ]キーを押す



「EQ」が点灯します。

2 [MULTI CONTROL]左右キーでバンドを選ぶ



※選んだバンドを示すバーが点滅します。

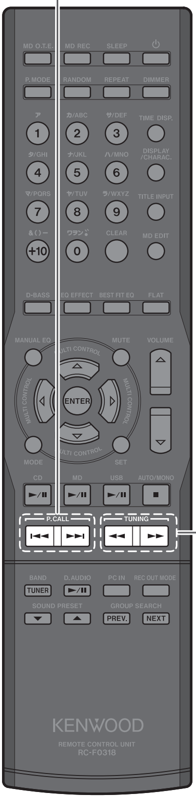
低音 ⟷ 高音

低音

重低音域の調整 (31.5Hz, 40Hz, 50Hz, 63Hz, 80Hz)	このレベルを上昇させると、ベースやバスドラムのような低音域の楽器がどっしりとした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられる場合は、適当と思われる所まで下降させます。
低音域の調整 (125Hz, 140Hz, 160Hz, 180Hz, 200Hz)	日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、低音が出過ぎる感じになりやすいものです。従って、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。
中低音域の調整 (315Hz, 350Hz, 400Hz, 450Hz, 500Hz)	音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられる所です。もの足りない音だと思われる場合は、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。
中音域の調整 (800Hz, 890Hz, 1kHz, 1.1kHz, 1.25kHz)	この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥に引っ込むような感じになり、臨場感に影響を与えます。音の奥行きと深みに関係する帯域です。
中高音域の調整 (2kHz, 2.2kHz, 2.5kHz, 2.8kHz, 3.15kHz)	この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられる所です。うまく調整すれば、爽快さや明るさが出てきますが、反面うるさい感じになることもあります。
高音域の調整 (5kHz, 5.6kHz, 6.3kHz, 7.1kHz, 8kHz)	この周波数帯域は、硬い感じ、柔らかい感じなど、音楽のイメージに影響を与える所です。上昇させると弦楽器（バイオリンなど）や、管楽器（フルート、ピッコロなど）が張りのある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。
超高音域の調整 (12.5kHz, 14kHz, 16kHz, 18kHz, 20kHz)	この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器（トライアングル、シンバルなど）が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

高音

関連情報 ●サウンドプリセット→P.93



3 [P.CALL]キーで周波数を設定する

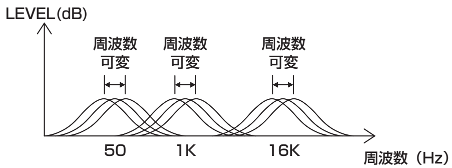
選択したバンドの中心周波数を選びます



※それぞれのバンドの中から5種類の中心周波数を設定できます。ただし、各周波数ごとにレベル設定するものではありません。(ひとつのバンドにつき、ひとつの周波数に対して効果があります。)

※各周波数についてはP.90の表を参照。

・周波数可変のイメージ



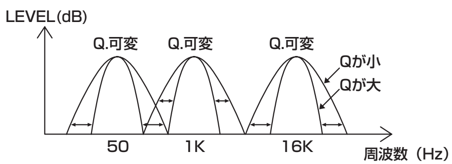
4 [TUNING]キーでQ(音域カーブの傾斜)を設定する

選択したバンドのQを選びます



※Qは2.0～5.0まで0.5単位で設定できます。

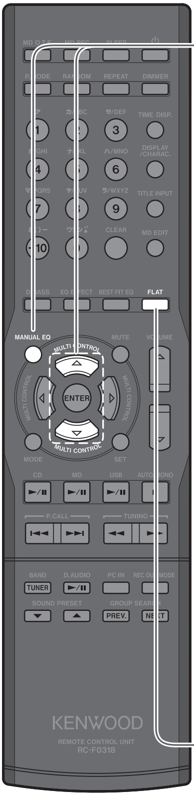
・Qの大小による周波数特性の違い
・Qの可変イメージ



次ページに続く

音質設定編

イコライザーを設定する（MANUAL EQ）（つづき）



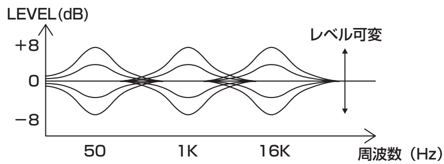
5 [MULTI CONTROL]上下キーでレベルを設定する



※－8～＋8の範囲で
設定できます。

[MANUAL EQ]キーを押す

・レベル可変のイメージ



※設定を保存しておく場合には、サウンドプリセットに登録してください。(P.93参照)

■一時的に解除する

[FLAT]キーを押すと、設定した音質を一時的に解除して、設定前の音質に戻ります。
もう一度**[FLAT]**キーを押すと、設定した音質になります。

Point

※新たにMANUAL EQを設定すると前の設定は消えます。設定を保存しておく場合には、サウンドプリセットに登録してください。（P.93参照）

※周波数、レベル、Qが各々選べるのでQを大きくして特定の周波数（楽器）を強調したり、逆にQを小さくして特定の周波数にピークを持たないカーブにしたりできます。手順2から5を繰り返して、お客様のお好みに合わせて調節してみてください。

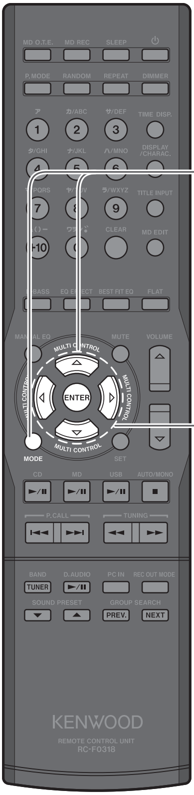
サウンドプリセット

設定したサウンド効果を、サウンドプリセットとして5つまで登録できます。
登録したサウンドプリセットは [SOUND PRESET] キーを押すだけで呼び出して使うことができます。

サウンド効果を登録する

D-BASS、MANUAL EQ、BEST FIT EQ で設定したサウンド効果を 5 つまで登録します。

●D-BASS（P.87）、BEST FIT EQ（P.89）、MANUAL EQ（P.90）でサウンド効果を設定しておきます。



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

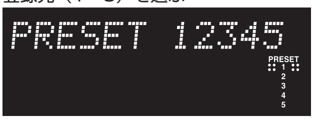


▼

[ENTER]キーを押す

2 [MULTI CONTROL]キーでプリセット番号を選ぶ

登録先（1～5）を選ぶ



※現在設定されているサウンド効果が登録されます。

※登録したサウンド効果を使う場合（P.94参照）

▼

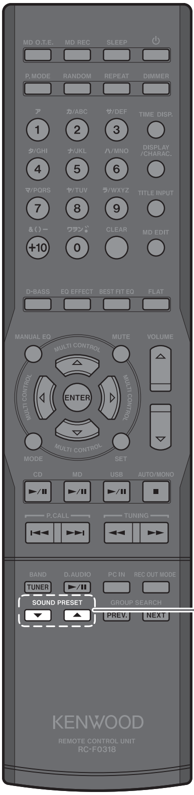
[ENTER]キーで確定する

音質設定編

サウンドプリセットを使う

登録したサウンドプリセットを呼び出して使います。

●あらかじめ、使いたいサウンド効果をサウンドプリセットに登録しておきます。(P.93参照)



1 [SOUND PRESET]キーを押してプリセット番号を選ぶ

[SOUND PRESET]キーを押すごとに、切り換わります。



機器設定編

基本的な時刻設定のほか、タイマーやディスプレイ設定など、本機をより便利に使いこなしていただくための機能を説明しています。

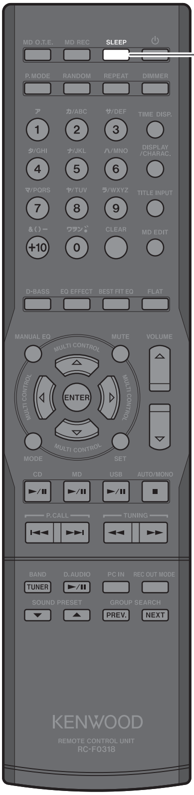
機器設定編

タイマー設定

設定した時間が過ぎると自動的に電源がオフになるおやすみタイマーと、
設定した時間になると、再生、録音を始めるプログラムタイマーがあります。

おやすみタイマーを設定する（SLEEP）

設定した時間が過ぎると自動的に電源がオフになります。電源オフまでの時間は 10 分～ 90 分を 10 分単位で設定できます。



1 [SLEEP]キーを押す

押すごとに10分単位で時間が長くなります。
90分の次はタイマーオフになります。

10 ▶ 20 ▶ 30 ▶ 40 ▶ 50
OFF ◀ 90 ◀ 80 ◀ 70 ◀ 60

※電源をオフにするか、OFFを選ぶとおやすみタイマーは解除されます。

おやすみタイマー設定中



関連情報
●時刻設定→P.102

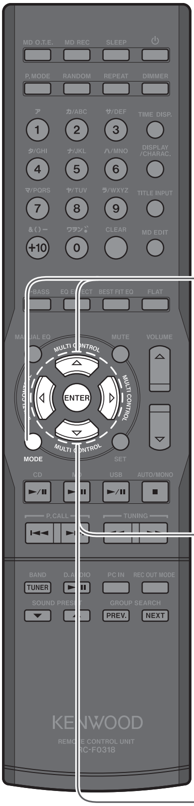
プログラムタイマーを設定する（PROGRAM）

タイマーを利用して、設定した時間に自動的に再生や録音を開始します。2つのタイマー（PROGRAM1、PROGRAM2）を同時に設定しておくことができます。CD、MD、ラジオを再生したり、ラジオをMDに録音できます。

●本機の時計を合わせておきます。（P.102参照）

※PROGRAM1とPROGRAM2の作動する時間が重ならないように、1分以上の間を開けて設定してください。

※タイマーでラジオを録音する場合、録音したい番組の開始時間ぴったりにタイマーを設定すると、最初の部分を録音できません。開始時間より1分程度早く設定してください。



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

`TIMER SET`

▼

[ENTER]キーを押す

2 「PROG.1」または「PROG.2」を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

`PROG.1 SET`

▼

[ENTER]キーを押す

3 「ON」または「OFF」を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

`PROG.1 OFF`

※「OFF」を選ぶと操作が終了し、もとの表示に戻ります。

▼

`PROG.1 ON`

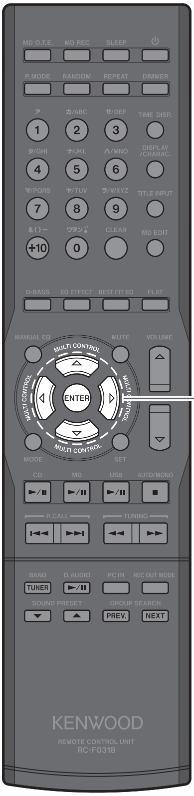
※「EVERYDAY」と表示されます。

▼

[ENTER]キーを押す

次ページに続く

機器設定編



4 「EVERYDAY」または「ONETIME」を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

EVERYDAY

毎日タイマー動作を繰り返します。

ONETIME

1回だけタイマー作動してOFFになります。

[ENTER]キーを押す

5 開始時間を設定する

「時」を**[MULTI CONTROL]**キーで合わせせる

ON ⊙1 [ ]:00PM

[ENTER]キーを押す

「分」を**[MULTI CONTROL]**キーで合わせせる

ON ⊙1 5:[ ]PM

[ENTER]キーを押す

6 終了時間を設定する

「時」を**[MULTI CONTROL]**キーで合わせせる

OFF ⊙1 [ ]:00PM

[ENTER]キーを押す

「分」を**[MULTI CONTROL]**キーで合わせせる

OFF ⊙1 6:[ ]PM

[ENTER]キーを押す

7 「PLAY」または「REC」または「AI PLAY」を設定する

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

PLAY

はじめから音量が手順8で設定するレベルで再生されます。

REC

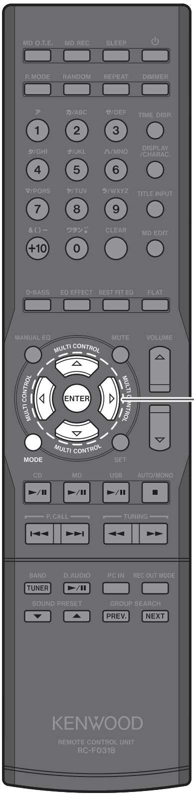
設定した時刻に録音が始まります。

AI PLAY

設定した時刻に再生が始まり、音量が手順8で設定するレベルまで徐々に大きくなります。

[ENTER]キーを押す

関連情報
●録音モードを設定する→P.70
●FM/AMラジオ→P.74



8 音量を設定する

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

VOLUME 10 ▶ **[ENTER]**キーを押す

ボリュームレベルを選びます

9 音源を設定する

「PLAY」「AI PLAY」の場合

[MULTI CONTROL]キーで音源を選択します。

●CD・MDの場合

CD
MD
▶ **[ENTER]**キーで確定する

※再生するCD、MDを開始時間までに本機に入れておきます。

●TUNERの場合

TUNER ▶ 01 FM 84.00 MHz ▶ **[ENTER]**キーで確定する

[ENTER]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで放送局（プリセット番号01～30）を選ぶ

※選局についてはP.74参照。

「REC」の場合

❶ 01 FM 84.00 MHz ▶ **[ENTER]**キーで確定する

[MULTI CONTROL]キーで放送局（プリセット番号01～30）を選ぶ

※選局についてはP.74参照。

❷ STEREO ▶ **[ENTER]**キーで確定する

[MULTI CONTROL]キーで録音モードを選ぶ

※録音モードについてはP.70の手順2を参照。



10 電源をOFFにする

スタンバイ・タイマーインジケーターがオレンジ色に点灯します。

※オレンジ色に点滅しているときは時計を合わせてください。（P.102参照）

■設定を途中でやめるには

MODE キーを押す。

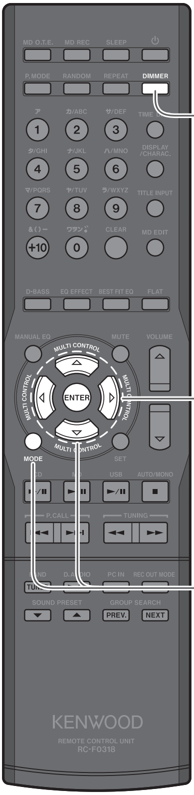
■タイマーを解除するには

手順3で「OFF」を選びます。

機器設定編

ディスプレイ設定

ディスプレイの明るさを調節したり、本体のボリューム部分のイルミネーション
やスペクトラムアナライザの点灯のしかたを設定します。



ディスプレイの明るさを設定する（DIMMER）

ディスプレイの明るさを 2 段階で調節できます。お好みやお部屋の状態によって調節してください。

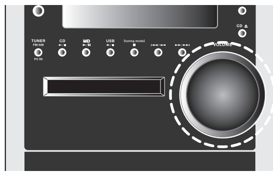
1 [DIMMER]キーを押す

押すごとに、明るめ、暗めが切り換わります。

ボリュームのイルミネーションを設定する（ILLUMINATION）

本体のボリューム部分はブルーのイルミネーションになっています。点灯のしかたを、点滅、常時点灯、消灯の 3 種類から選べます。

※USB、CD、MD再生中はゆっくり点滅します。ボリューム操作時は速く点滅します。



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

ILLUMINATION

▼

[ENTER]キーを押す

2 イルミネーションの種類を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

ILLUMI　1　ゆっくり点滅

▼

ILLUMI　2　常時点灯

▼

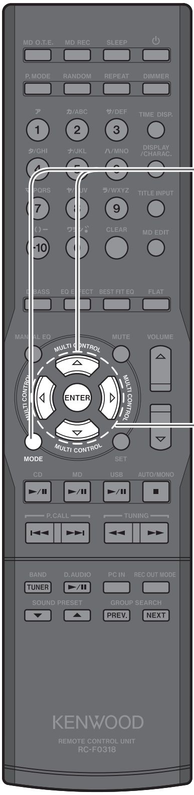
ILLUMI　OFF　消灯

▼

[ENTER]キーで確定する

関連情報
●CDを再生する→P.34 ～
●MDを再生する→P.40 ～

スペクトラムアナライザのパターンを設定する（S.A.PATTERN）



スペクトラムアナライザ表示のパターンを 4 パターンから選べます。

●CD、MDを再生して音を出しながら設定すると、パターンがわかります。

1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ



▼

[ENTER]キーを押す

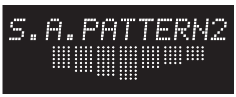
2 パターンを選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ



パターン1：
下から上にのびる（通常）

▼



パターン2：
上から下にのびる

▼



パターン3：
パターン1の上端のバー のみ表示

▼



パターン4：
パターン3が反転表示

▼



OFF

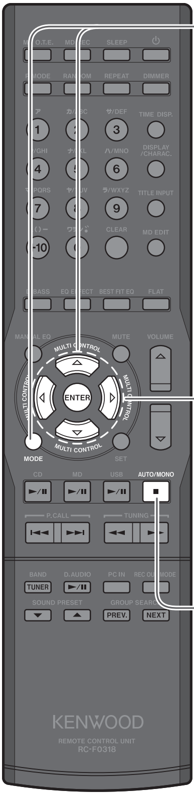
▼

[ENTER]キーで確定する

機器設定編

時刻設定

本機の時計を正しい時刻に合わせます。プログラムタイマーで再生や録音をする場合、時刻が正しく設定されていないと、正しい時間にプログラムを作動させることができません。



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

TIME ADJUST

▼

[ENTER]キーを押す

2 時刻を合わせる

「時」を[MULTI CONTROL]キーで合わせる

TIME [ ]:00pm

[ENTER]キーを押す

▶

「分」を[MULTI CONTROL]キーで合わせる

TIME 9:[ ]pm

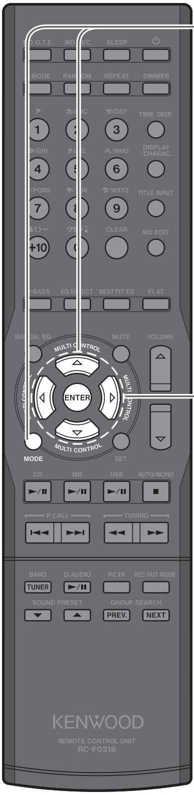
[ENTER]キーで確定する

■電源がOFFの（スタンバイ状態）のとき時刻を表示させるには

AUTO/MONO ■ キーを押す。 ※5秒間表示されます。

オートパワーセーブ

A.P.S. とは Auto Power Save（オートパワーセーブ）機能の略です。電源がオンで CD、MD、USB が停止したまま 30 分以上何も操作しないと、自動的に電源がオフになる機能です。



1 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

A.P.S. SET　A.P.S.

点滅

▼

[ENTER]キーを押す

2 「ON」または「OFF」を選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

A.P.S.　ON

▼

A.P.S.　OFF

▼

[ENTER]キーで確定する

※「A.P.S.」が点滅が点灯に変わります。

Point

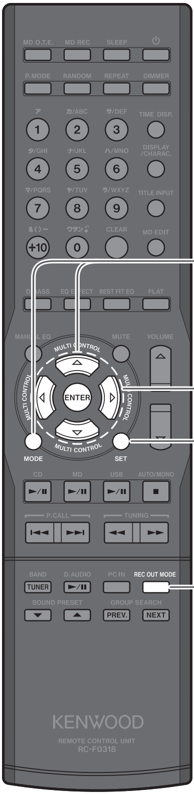
※入力がPC（パソコン）、TUNER、またはD.AUDIOのときは、音量がゼロ（VOLUME 0）またはMUTEがオンのときに限り働きます。

機器設定編

録音レベルの調整

デジタルオーディオプレーヤーに録音した音が歪む、または小さい
と感じた場合は、出力レベルを調整して合わせることができます。

※ヘッドホンをしたまま「REC OUT MODE」に変更すると、音が大きくなることがありますのでご注意ください。



1 [REC OUT MODE]キーを押す

REC OUT MODE

※本体のREC OUTインジケーターも点灯します。

▼

[SET]キーを押す

2 [MODE]キーを押す

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

RecOut Level

▼

[ENTER]キーを押す

3 出力レベルを選ぶ

[MULTI CONTROL]キーで選ぶ

HIGH

▼

MID

▼

LOW

▼

[ENTER]キーで確定する

※PHONES/REC OUT端子にケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続する場合は、それぞれの機器に最適な録音レベルを選びます。

M1GB5、M512B5を接続した場合 ➡ 本機：HIGH
M1GB5 / M512B5 ］調整なし

M2GC7、M1GC7を接続した場合 ➡ 本機：HIGH
M2GC7 / M1GC7 ］Mid

保守編

エラーやトラブルが起きたときにご覧ください。
また、長くご愛用いただくための保管やお手入れ方法についても、ぜひご覧ください。

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意　味
ACCESS	本体前面のUSB端子に接続した機器のファイルの読み出し中。
BLANK DISC	MDに何も録音されていない。
BUFFER OVER	74分以内に200以上の曲を4倍速でワンタッチエディット録音しようとしている。 →通常速度で録音する。(P.68参照) →74分待つ。
CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 　→編集できません。 ●プログラムモード、グループモードのときに編集しようとしている。 　→プログラムモード、グループモードを解除する。(P.50、P.60参照)
CAN'T REC	UTOC*1情報を読むことができない。 →ALL ERASEを行う（P.50参照） 　それができない場合は、MDを取り換える。
CD NO DISC	CDが入っていない。 →CDを入れる。
CD ONLY	音源がCD以外のときにBest Fit EQキーを押した。 →音源をCDにしてから、Best Fit EQキーを押す。
CHECK DISC	●TOC*1情報を読むことができない。 　→ディスクが汚れている。「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、 　　ディスクの汚れをふきとる。(P.114参照) ●ディスクが正しく挿入されていない。 　→ディスクを正しくトレイに置く。(P.23参照)
DISC FULL	録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。 →録音用のMDを入れ換える。一枚のMDに録音できるのは255曲まで。
MD NO DISC	MDが入っていない。 →MDを入れる。
NO PGM	曲がプログラムされていない。 →聞きたい曲をプログラムする。(P.36、P.42参照) →プログラムモードを解除して通常再生する。(P.37、P.42参照)
NO TEXT	CD-TEXTディスクのテキスト情報がない。
NO TRACKS	曲は録音されていないが、MDタイトルが書かれている。
PGM FULL	CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 →プログラムできるのは32曲まで。
PGM MODE	プログラムモードのときにランダム再生しようとしている。 →プログラムモードを解除する。(P.37、P.42参照)
PLAY ONLY	再生専用のMDに録音しようとしている。 →録音用のMDを入れる。
PROTECTED	MDの誤消去防止つまみが「録音禁止」側になっている。 →つまみを「録音可能」側に動かす。(P.26参照)

ディスプレイ表示	意　味
RANDOM MODE	ランダム再生のときにワンタッチエディット録音をしようとしている。 →ランダム再生を解除する。（P.38、P.44参照）
SAME TNO.	同じ曲を2回以上プログラムして4倍速録音しようとしている。 →通常速度で録音する。（P.68参照）
SCMS	SCMSによりデジタルコピー禁止の音源をデジタル録音しようとしている。 →デジタル録音はできないので、アナログ録音に切り換える。 （P.69参照）
SettingError	Best Fit EQで、イコライザーカーブを設定できなかった。 →「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し（P.114参照） ディスクの汚れをふきとって、もう一度行う。
TEXT FULL	1536バイト以上のテキスト情報があるCD-TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。 →表示できません。
TITLE FULL	MDの最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 →入力できる文字数は、全体で1792文字、一曲につき80文字 （「LP:」、スペースも含む）。
UTOC ERROR	UTOC＊1情報を読むことができない。 →ALL ERASEを行う。（P.50参照） それができない場合は、MDを取り換える。
WAIT 74min＊2	74分以内に、同じCDから4倍速でワンタッチエディット録音（全曲または1曲）しようとしている。 →通常速度で録音する。（P.68参照） →74分待つ。
・・・・・・・	MDのタイトルが書かれていない。

＊1：CDとMDには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。TOC以外に録音用MDに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

＊2：1min ～ 74min

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置	参照ページ
音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。 ●音量を上げる。 ●ミュートを解除する。 ●ヘッドホンが差し込まれている場合はプラグを抜く。	12 22 22 14
タイマーインジケーターの表示が赤く点滅し、音が出ない	●使用を中止する。内部的な不具合が発生したことが考えられます。電源を切り、電源プラグを抜いて修理をご依頼ください。	――
ヘッドホンから音が出ない	●ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 ●音量を上げる。	14 22
スピーカーの片側から音が出ない	●「接続のしかた」を参照し、正しく接続し直す。	12
スピーカーからの音が割れている（歪んでいる）	●スピーカーコードがショートしている。電源プラグをコンセントから抜き電源を切ってからショートを取り除く。 ●外部機器（D. AUDIO）の入力レベルを下げる。	―― 82
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している	●「時刻設定」を参照し、時刻を合わせる。	102
タイマーが作動しない	●「時刻設定」を参照し、時刻を合わせる。 ●タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	102 97

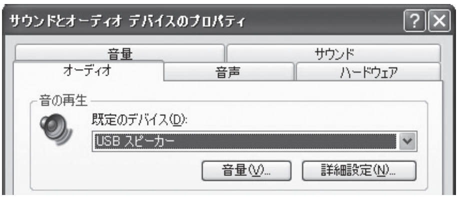
チューナー部

症　状	処　置	参照ページ
放送局が受信できない	●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。	12 74 74
雑音が入る	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。	――
オートプリセット後、P.CALLキーを押しても受信できない	●もう一度オートプリセットする。 ●受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	76 78

USB部

症　状	処　置	参照ページ
USBフラッシュメモリまたはUSBオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	●USBフラッシュメモリを正しく差し込む。 ●USBケーブルを正しく接続する。 ●USBオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	15 15 30

PC部

症　状	処　置	参照ページ
本機が認識されない	●USBケーブルで本機とパソコンを正しく接続する。 ●USBハブを使って接続している場合は、ハブが正しく動作しているか確認する。または接続するポートを変える。	15
音が出ない または小さい	次の操作を行ってみてください。 ●対策1 ①パソコンの音楽再生ソフトを終了する。 ②本機の電源をオフにしてからオンにする。 ③パソコンの音楽再生ソフトを起動して再生する。 ●対策2 ①パソコンで[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]を開き、「優先するデバイス」が「USBスピーカー」になっているか確認する。 ②「USBスピーカー」になっていないときは、プルダウンメニューの中から「USBスピーカー」を選ぶ。  ●対策3 ①パソコンで[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[ボリュームコントロール]を開き、音量が最小になっていたり、「ミュート」にクリックマークがついていないかを確認する。 ②音量が最小になっているときは音量を上げ、「ミュート」にクリックマークがついているときは、マークをクリックしてクリックマークをはずす。	29
音が途切れる	●音声出力中、CPUに負担のかかる作業をしているときは、音が途切れることがあります。CPUに負担のかかる作業は控えてください。 ●音声出力中にほかのUSBケーブルの抜き差しをすると、音が途切れることがあります。音声の再生中に、ほかの機器のUSBケーブルを抜き差ししないでください。	――
雑音が多い	●強い電磁波を発生するもの（テレビなど）の近くに本機が置かれていると、雑音が多くなることがあります。強い電磁波を発生するものから十分に離して設置してください。	――

保守編

故障かな？と思ったら

CD部

症　状	処　置	参照ページ
CDを入れても 再生できない	●レーベル面を上にして、正しく入れる。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」 を参照し、ディスクの汚れをふきとる。 ●「結露にご注意」を参照し、露を蒸発させる。	23 114 114
音声が出ない	●**[CD]**キーを押す。 ●「CDディスクの保管とお手入れ」を参照し、ディスクの汚れをふきとる。	23 114
音とびがする	●「CDディスクの保管とお手入れ」 を参照し、ディスクの汚れをふきとる。	114

MD部

症　状	処　置	参照ページ
再生キーを押しても 音が出ない	●録音済MDまたは再生用MDを入れる。	――
録音ができない	●誤消去防止つまみをふさぐか、録音可能なMDに取り換える。 ●録音したい音源に切り換える。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 アナログ録音に切り換える。	26 69
D.AUDIOの 録音レベルが低い	●D.AUDIO入力レベルを調整する。	82
D.AUDIOの録音後 音がひずむ	●D.AUDIO入力レベルを調整する。	82
MDが入らない	●本体の**[MD EJECT]**キーを押す。再度MDを入れ直す。	――

MD部（MD規格上の症状）

症　状	処　置	参照ページ
MDを入れても録音できない	●256曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。（トラック番号256未満でも録音できないことがあります。）このとき、表示部の録音残量時間表示は[0:00]になります。	――
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない	●MD全体の残り時間が12秒未満の場合は、表示部の録音残量時間表示は [0:00] になります。 消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。＊1 ●編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。	――
曲をつなぐことができない	●編集処理の結果としてできた曲は、つなげない場合があります。 ●異なる録音モードの曲同士はつなげません。＊2 ●他のNet MD対応機器でパソコンからチェックアウトされた曲と通常に録音した曲は、つなぐことができません。	――
録音済みの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間（60分、74分、80分）と一致しない	●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。＊3	――
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる	●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。	――
トラック（曲）番号が正しくつかない	●録音した音源（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。	――
[READING］が表示される時間が異常に長い	●新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合、通常よりも長い間［READING] が表示されます。	――
モノラル録音されたMDのとき、時間表示が不正確になる	●モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。	――
タイトルが1792文字入らない	●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。	――

＊1 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：24秒　LP4モードの場合：48秒）
＊2 STEREO（ステレオ録音）モード、LP2（ステレオ2倍長時間録音）モード、LP4（ステレオ4倍長時間録音）モード、MONO（モノラル録音）モード
＊3 録音モードがSTEREOモードの場合（LP2/MONOモードの場合：4秒　LP4モードの場合：8秒）

故障かな？と思ったら

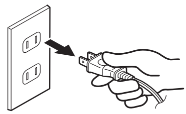
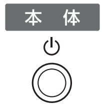
D.AUDIO IN端子に接続した機器

症　状	処　置	参照ページ
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン/本体で操作できない	●別売の専用ケーブル PNC-150で接続する。 ●非対応モデルを接続している。	14 80
再生中に雑音が入る	●D.AUDIO IN端子に機器を接続して再生するのと同時に、USBケーブルを接続して充電している場合、USBケーブルを外す。	――

リモコン部

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	●新しい電池に入れ換える。 ●操作範囲内で操作する。	19 19

マイコンをリセットするには

症　状	処　置
マイコンが誤動作（操作できない、表示部の誤表示など）する	●電源がONのときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により、誤動作することがあります。 次の手順に従い、マイコンをリセットしてください。 ❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。  ❷ 再度本体の電源キーを押しながら、電源プラグを差し込み直します。  ❸ マイコンをリセットすると右記のディスプレイが表示されます。 ※CDのディスクが入ったままリセットすると自動的に排出されます。ディスクを取り出してからCDトレイを閉じてください。 ※リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。ご了承ください。 

用語集

用　語	意　味	ページ
CD-DA	音楽CDのこと。一般的に「CD」といえば、ほとんどの場合、CD-DAを指す。	24
CD-TEXT	ディスク名、アーティスト名、曲名等の文字情報が記録された音楽CDの呼称。	34
Hi-MD	これまでのMDと再生の互換性があり、録音時間を最大45時間まで拡張したもの。本機では対応していません。	24
MD-Clip	これまでのMDに静止画像を記録できるようにした規格の呼称。	24
MP3	独Fraunhofer IISが開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、音楽CD並みの音質を保ったまま約1/11(128kbps)に圧縮することができる。	25
Net MD	パソコン上の音楽データをUSB経由でMDに転送する規格。	55
USBハブ	複数のUSB機器を同時に接続するためのアダプター。	25
USBマスストレージクラス	パソコンにUSB機器を接続するための規格。またパソコンに接続したUSB機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。	15、25
VBR (可変ビットレート)	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。	117
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を1秒間に何回行うかを示す数値。音楽CDの場合は44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となる。	25
チェックアウト	パソコンからNet MD対応機器を使ってMDへ音楽データを転送すること。	55
ビットレート	1秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となる。	25

保管とお手入れ

本機の保管とお手入れ

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

■ 結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。
気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

■ 汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

CDディスクの保管とお手入れ

■ 保管するときは

長い間使用しないときは、本機から取り出し、
ケースに入れて保管してください。

■ 汚れたら

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）およびレンズクリーナーは使わないでください。

■ その他お守りしていただきたいこと

- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。

USB機器の保管とお手入れ

必ず各製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

MDの保管とお手入れ

■ 保管するときは

極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

■ 汚れたら

- 定期的に、カードリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふきとってください。
- レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

■ その他お守りしていただきたいこと

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

保障とアフターサービス

よくお読みください

保証書（別途）

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談・ご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」P.116参照）

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

■ 保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

■ 出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所
  （ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

■ 保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

使いかたや製品に対するお問合せは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください） **2006年12月現在**

北海道

札幌サービスセンター	〒007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740

東北

仙台サービスセンター	〒984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和1F)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスセンター	〒020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311

関東・信越

さいたまサービスセンター	〒330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2(JA 共済埼玉ビル1F)	☎(048) 647-6818
千葉サービスセンター	〒277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
新潟サービスセンター	〒950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
目黒サービスセンター※	〒153-0042	目黒区青葉台3-17-9	☎(03) 3477-5411

中部・甲州

名古屋サービスセンター	〒462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
松本サービスセンター	〒390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスセンター	〒920-0036	金沢市元菊町21-87	☎(076) 265-5045

近畿・四国

大阪サービスセンター	〒532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスセンター	〒760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413

中国

広島サービスセンター	〒731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210

九州

福岡サービスセンター	〒815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスセンター	〒890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〒901-2101	浦添市西原4-36-17(株)物琉2F	☎(098) 874-9010

● ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内：
午前10 時から午後6 時まで
月曜日～金曜日（土曜、日曜、祝日及び当社休日を除く）

※目黒サービスセンターは修理持込専用窓口となっております。
電話でのお問合せはカスタマーサポートセンターへの転送にて承ります。

カスタマーサポートセンター

カスタマーサポートセンター
ナビダイヤル　☎ 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP 電話からのご利用は　☎ (045) 933-5133
FAX (045) 933-5553
〒 226-8525　横浜市緑区白山1-16-2

● カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内：
月曜～金曜　午前9 時30 分から午後6 時
土曜　午前9 時30 分から午後12 時、午後1 時から午後5 時30 分
（日曜、祝日及び当社休日を除く）

定 格

本体部（RMD-NDL100）

[アンプ部]

実用最大出力……………… 15 W + 15 W（JEITA 6 Ω）
D-BASS (+10) …………… +11 dB (55 Hz、Vol. 20)
入力端子（感度／インピーダンス）
　LINE (D. AUDIO)
　…………………… 240 mV / 20 kΩ (入力レベル0時)
出力端子（レベル／インピーダンス）
　REC OUT (D. AUDIO) ……900 mV / 10 Ω (HIGH)
　………………………………… 650 mV / 10 Ω (MID)
　………………………………… 450 mV / 10 Ω (LOW)
　SUB WOOFER PREOUT ………… 1.9 V / 680Ω

[チューナー部]

FMチューナー部
　受信周波数範囲…………………… 76 MHz ～ 90 MHz
　アンテナインピーダンス…………………… 75 Ω不平衡
AMチューナー部
　受信周波数範囲……………… 531 kHz ～ 1,629 kHz

[USB部]

インターフェイス…………USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルシステム………………………… FAT 16/32
再生フォーマット／形式
　MP3　サンプリング周波数
　　……………… 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz
　　ビットレート(CBR/VBR *) ……… 32～320 kbps
ID3タグ ……………………………………………… 非対応
最大フォルダ数……………………………………… 無制限
最大フォルダ階層数………………………………… 8階層
最大ファイル数…………………… 65534 (FAT 32時)
供給電流…………………………………… 最大500 mA

※VBRのオーディオデータは、上記のビットレートの範囲外になる場合があり、再生できないことがあります。

[CDプレーヤー部]

読み取り方式………………………… 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター ………………………………1 ビット
オーバーサンプリング………………… 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA) ………………… 20 Hz ～ 20 kHz

[MDレコーダー部]

読み取り方式………………………… 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式……………………… 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式…………………………… ATRAC/ATRAC 3
D/Aコンバーター ………………………………1 ビット
オーバーサンプリング………………… 8 fs (352.8 kHz)

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数…… AC 100 V、50 Hz/60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） …… 55 W
待機時消費電力…………………………………0.2 W以下
最大外形寸法………………………………… 幅 180 mm
高さ 215 mm
奥行 326 mm
質量（重量）………………………………… 5.0 kg(正味)

スピーカー部（LS-NDL100）

エンクロージャー…………………………… バスレフ方式
スピーカー構成
　ウーファー………………………… 100 mm コーン型
　ツイーター…………………25 mm バランスドーム型
インピーダンス……………………………………… 6 Ω
最大入力……………………………………………… 20 W
最大外形寸法………………………………… 幅 130 mm
高さ 215 mm
奥行 219 mm
質量（重量）………………………………… 1.9 kg(1本)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

● 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
ナビダイヤル　0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは　045-933-5133
FAX　045-933-5553
住所　〒226-8525　神奈川県横浜市緑区白山1-16-2
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
土曜　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

● 修理などのアフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。